

## ● 事前のご案内

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、登壇者及び司会者はマスクを着用させていただきます。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴いWEBによるライブ配信を行っております。WEBでのご質問は決算説明会開始時から終了時まで受け付けさせていただきます。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、決算説明会終了後に名刺交換の場は設けないことと致します。
- 会場にお越しいただいた方にはアンケート用紙をお配りしておりますので、記入のご協力をお願い致します。

何卒、ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

## (基本方針)

従業員とお客様の安心と安全の確保を最優先としたうえで、  
お客様の依頼に最大限対応する



非接触型体温計による検温の実施



棚卸機器の消毒の徹底



ソーシャルディスタンスシール/アクリル板

# 2020年3月期 決算説明会

2020年5月21日

株式会社エイジス  
(JASDAQ 4659)



- 1. グループ概要**
- 2. 2020.03期 業績ハイライト**
- 3. 中期経営計画総括**
- 4. 2021.03期 業績見通し**
- 5. 2021.03期 重点取り組み**

## 1. グループ概要

## 2. 2020.03期 業績ハイライト

## 3. 中期経営計画総括

## 4. 2021.03期 業績見通し

## 5. 2021.03期 重点取り組み

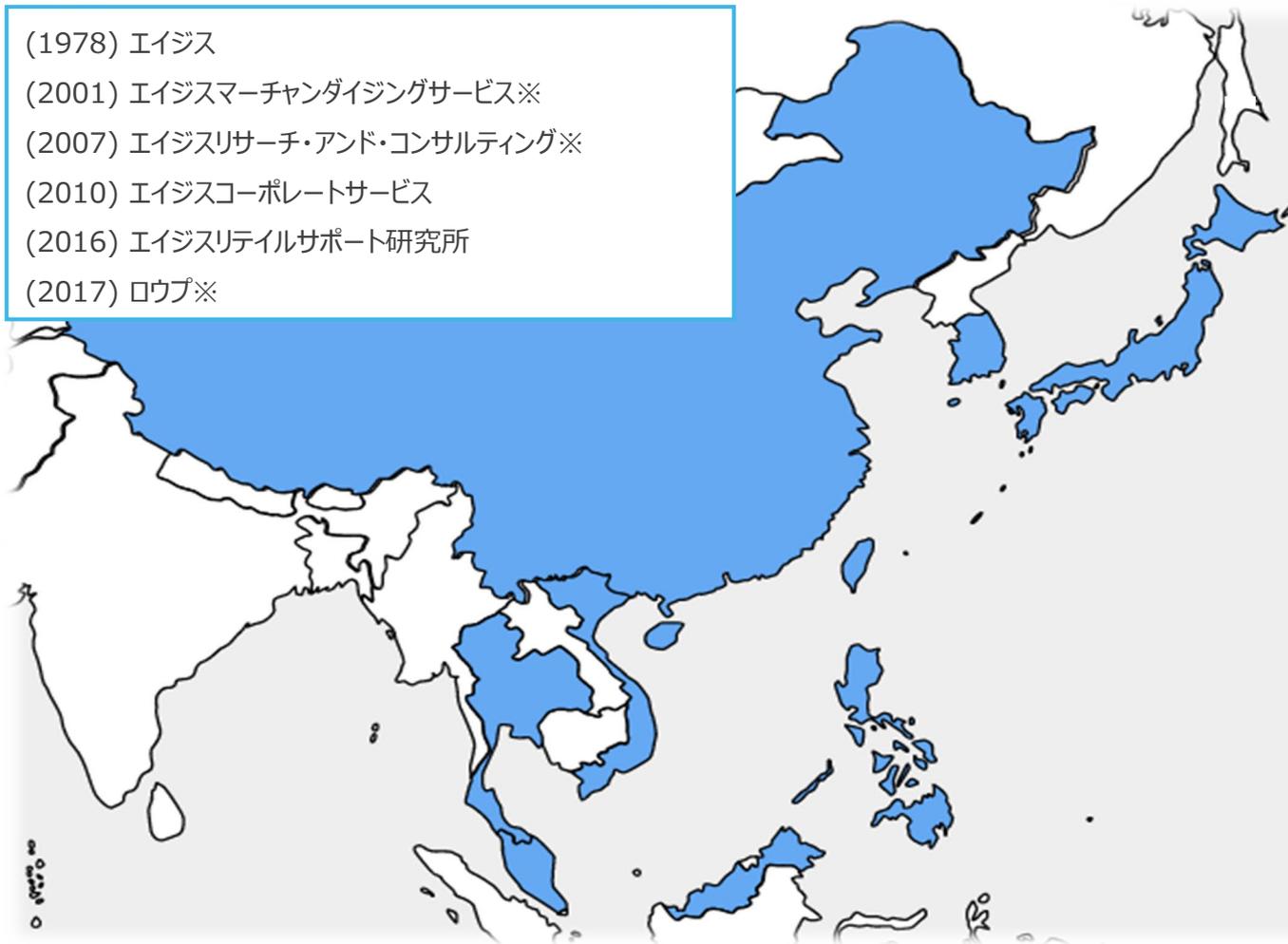
## ✓ 『アジアのリテイルサポートサービスグループ』としてアジア各国で事業展開

- (1978) エイジス
- (2001) エイジスマーチャンダイジングサービス※
- (2007) エイジスリサーチ・アンド・コンサルティング※
- (2010) エイジスコーポレートサービス
- (2016) エイジスリテイルサポート研究所
- (2017) ロウプ※

( )内は設立年  
※は連結子会社  
<2020年3月末現在>

- (1982)エイジス九州
- (1984)エイジス北海道
- (1992)エイジス四国
- (1995)ニップス

- (2003)韓国※
- (2004)大連
- (2009)上海※
- (2009)台湾
- (2009)マレーシア※
- (2011)北京※
- (2011)広州※
- (2011)香港※
- (2011)タイ※
- (2016)フィリピン
- (2016)ベトナム※

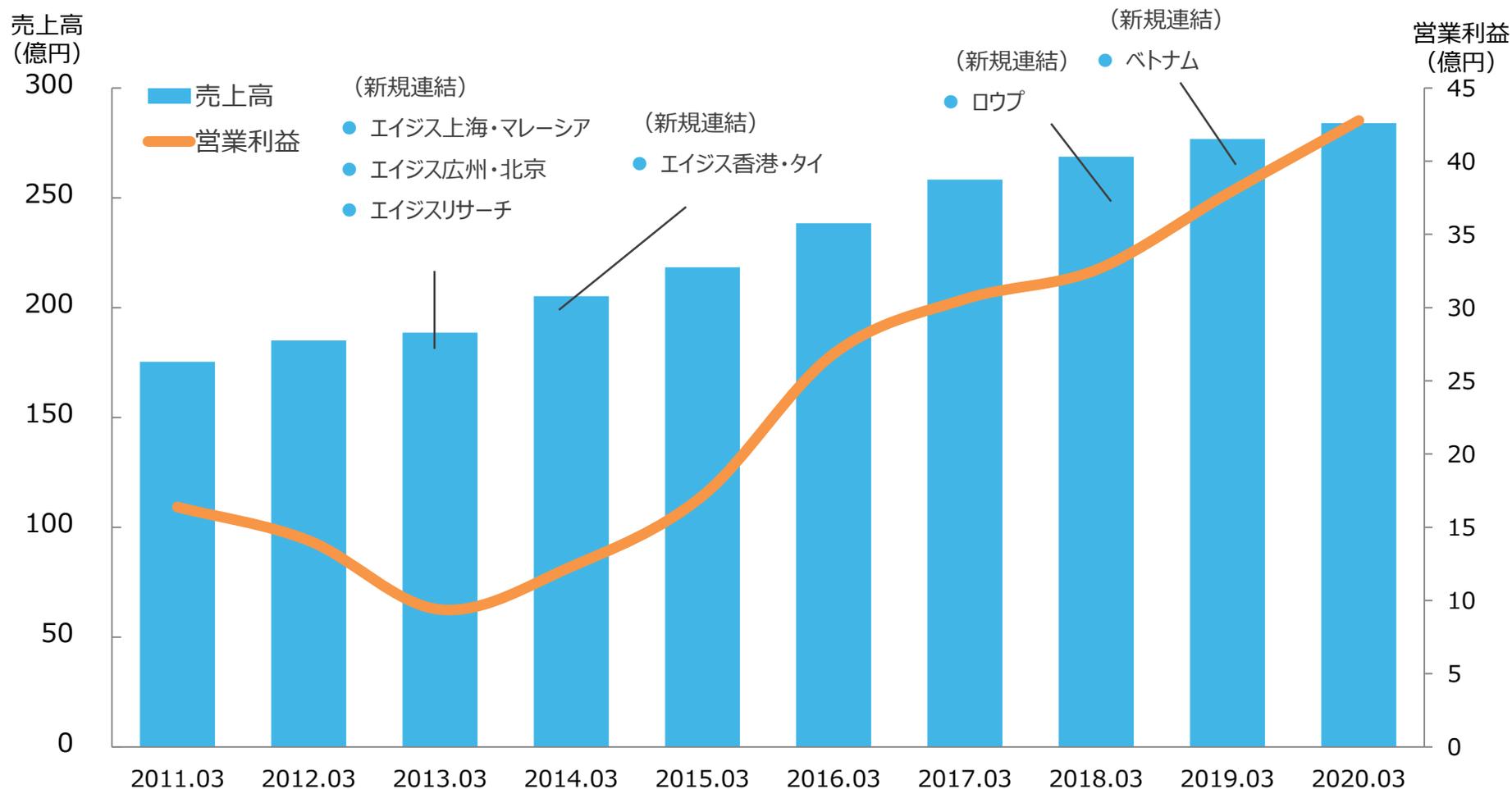


✓ 国内外21社で構成し、アジア各国のチェーンストアにサービスを提供

	国内棚卸サービス	リテールサポートサービス	海外棚卸サービス
<b>連結 子会社 (12社)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エイジス（当社）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マーチャンダイジングサービス</li> <li>リサーチ・アンド・コンサルティング</li> <li>ロウプ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>韓国</li> <li>上海</li> <li>北京</li> <li>広州</li> <li>香港</li> <li>タイ</li> <li>マレーシア</li> <li>ベトナム</li> </ul>
<b>FC (6社)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州</li> <li>北海道</li> <li>四国</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニップス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>台湾</li> <li>フィリピン</li> </ul>
<b>非連結 機能会社 (3社)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大連</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーポレートサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リテールサポート研究所</li> </ul>

※ 社名の「エイジス」は省略

## ✓ 7期連続で増収増益、過去最高の売上・営業利益を更新中



1. グループ概要

2. 2020.03期 業績ハイライト

3. 中期経営計画総括

4. 2021.03期 業績見通し

5. 2021.03期 重点取り組み

## 全社

- 連結業績は7期連続の増収・増益
- 計画に対して売上高未達・営業利益は達成

## セグメント

### 国内棚卸サービス

- 売上は減収、利益はフィールド生産性の向上により増益

### リテールサポートサービス

- 二桁の売上伸長、全社の売上成長を牽引

### 海外棚卸サービス

- 中国・韓国の業績不振により減収・減益

✓ 売上高・営業利益ともに前年を上回る

(単位：百万円)

	2018.03期	2019.03期	2020.03期	前年同期比		計画	2020.03期計画	
				前期比	増減額		計画比	増減額
売上高	26,870	27,669	28,402	102.6%	+732	28,500	99.7%	-97
売上総利益	7,475	8,401	8,787	104.6%	+385	8,846	99.3%	-58
対売上比	27.8%	30.4%	30.9%	-	0.6%	31.0%	-	-0.1%
販売管理費	4,216	4,623	4,510	97.6%	-113	4,846	93.1%	-336
対売上比	15.7%	16.7%	15.9%	-	-0.8%	17.0%	-	-1.1%
営業利益	3,258	3,778	4,277	113.2%	+498	4,000	106.9%	+277
対売上比	12.1%	13.7%	15.1%	-	1.4%	14.0%	-	1.0%
経常利益	3,309	3,828	4,343	113.4%	+514	4,051	107.2%	+292
対売上比	12.3%	13.8%	15.3%	-	1.5%	14.2%	-	1.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,237	2,634	3,011	114.3%	+376	2,763	109.0%	+248
対売上比	8.3%	9.5%	10.6%	-	1.1%	9.7%	-	0.9%

※計画数値は2020年1月31日公表時の予想値を記載しております。

# 2020.03期 セグメント別業績サマリー



- ✓ 売上高はリテールサポートサービスが成長ドライバー
- ✓ 営業利益は国内棚卸・リテールサポートサービスは増益だが、海外で減益

(単位：百万円)

セグメント名称	売上高					営業利益					
	2018.03期	2019.03期	2020.03期	前年同期比		2018.03期	2019.03期	2020.03期	前年同期比		
				前期比	増減額				売比	前期比	増減額
セグメント合計	26,870	27,669	28,402	102.6%	+732	3,258	3,778	4,277	15.1%	113.2%	+498
国内棚卸サービス	17,615	17,435	17,303	99.2%	-132	2,454	3,057	3,594	20.8%	117.6%	+537
リテールサポートサービス	7,190	7,819	8,719	111.5%	+899	567	488	530	6.1%	108.6%	+41
海外棚卸サービス	2,328	2,705	2,574	95.2%	-130	211	202	133	5.2%	66.0%	-68
消去	-263	-290	-195	-	+95	24	31	19	-	-	-12

# セグメント別業績（国内棚卸サービス）



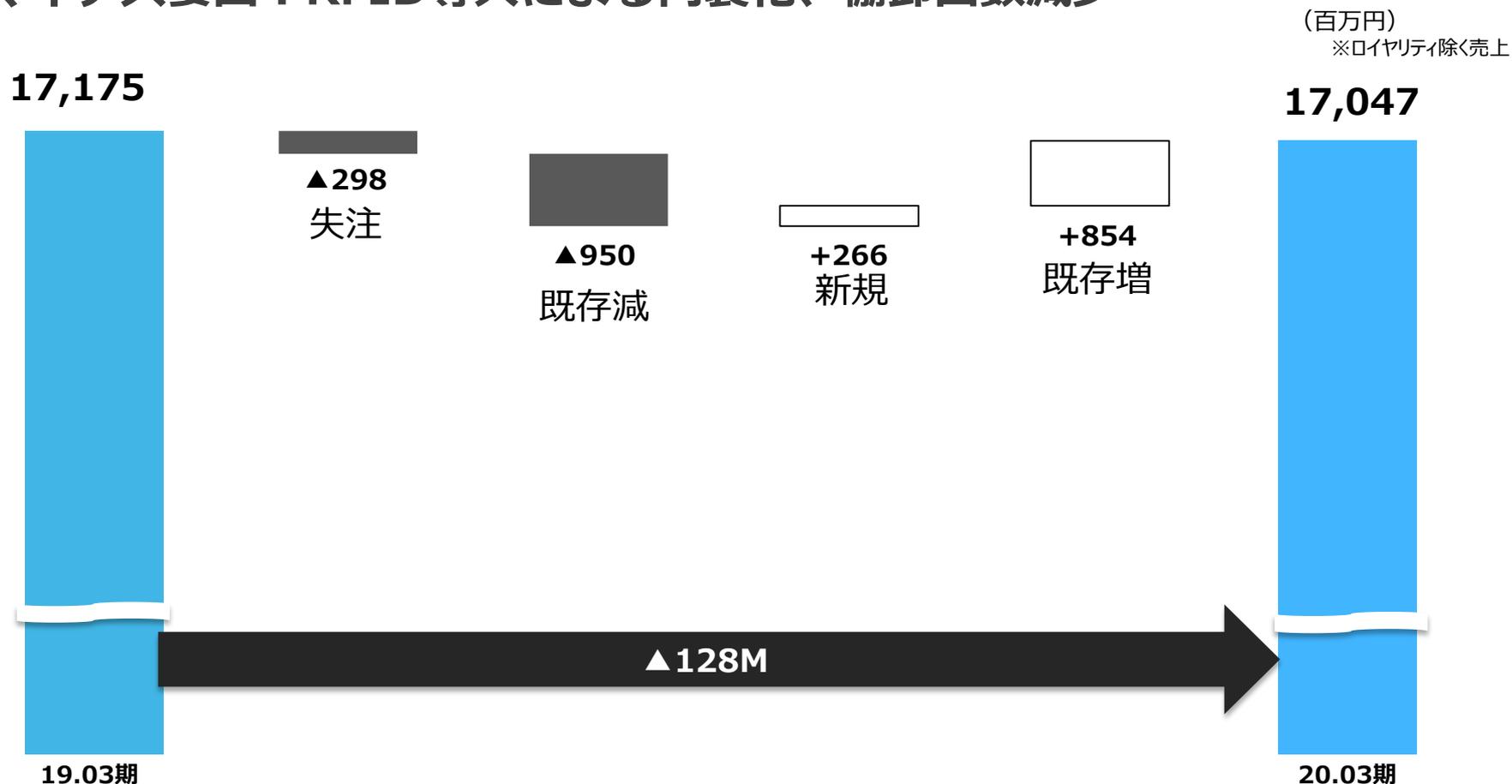
（単位：百万円）

	2018.03期	2019.03期	2020.03期	前年同期比	
				前期比	増減額
売上高	17,615	17,435	17,303	99.2%	-132
売上総利益	5,436	6,247	6,705	107.3%	+458
対売上比	30.9%	35.8%	38.8%	-	2.9%
販売管理費	2,980	3,190	3,111	97.5%	-79
対売上比	16.9%	18.3%	18.0%	-	-0.3%
営業利益	2,454	3,057	3,594	117.6%	+537
対売上比	13.9%	17.5%	20.8%	-	3.2%

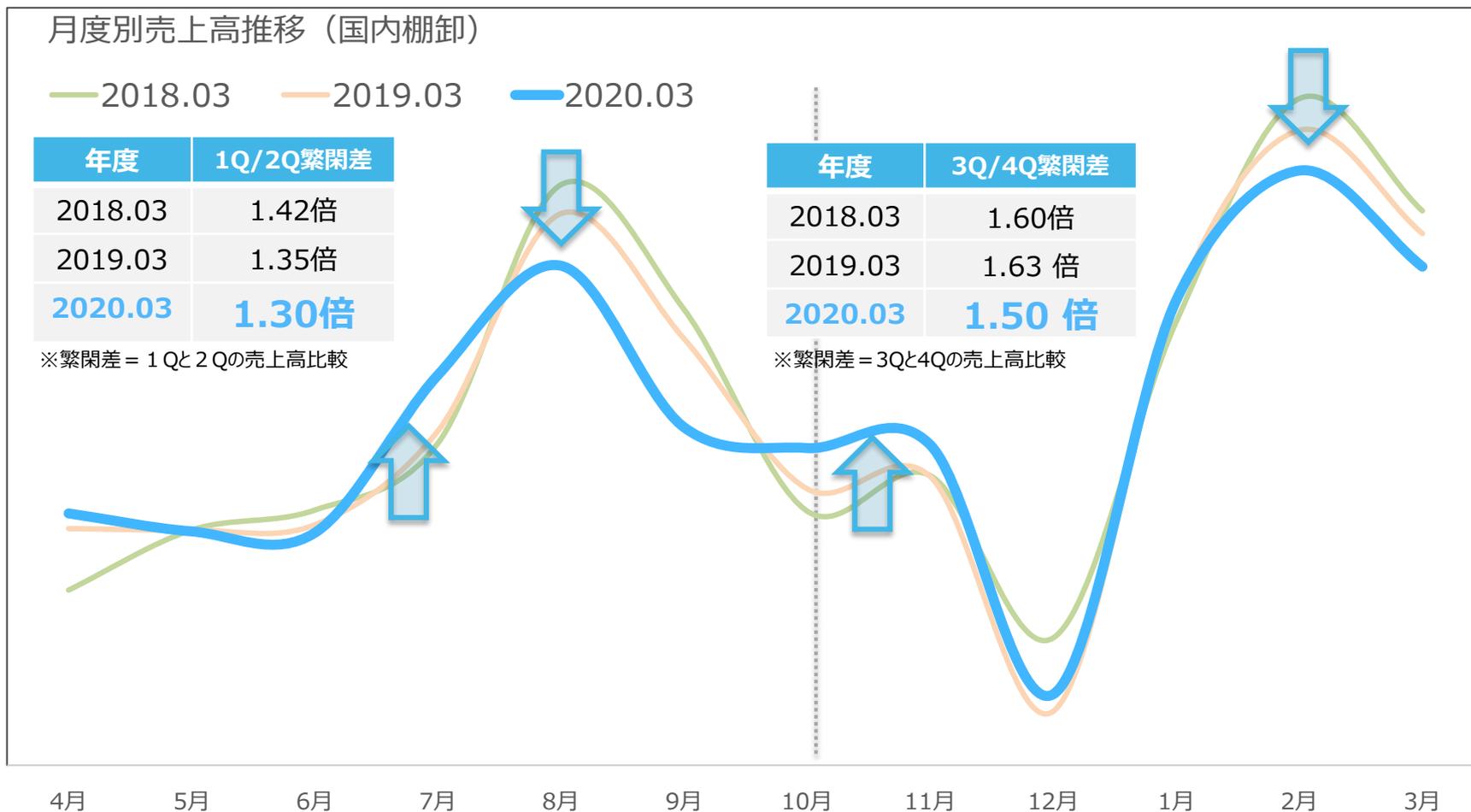
※セグメント間売上、振替も上記数値に含む

- 既存顧客のRFID導入による内製化、棚卸回数減少等により売上高は減少
- 棚卸日程の分散により生産性が向上し売上総利益が伸長
- 生産性向上と販管費の圧縮により営業利益は前期比17.6%伸長

- ✓ **プラス要因** : 店舗改装に伴う商品補充、巡回型メンテナンス業務
- ✓ **マイナス要因** : RFID導入による内製化、棚卸回数減少



- ✓ 繁忙格差の是正は順調に推移
- ✓ 10月1日の消費税率変更に伴い、棚卸受注の前倒し及び10月以降へのシフトが発生

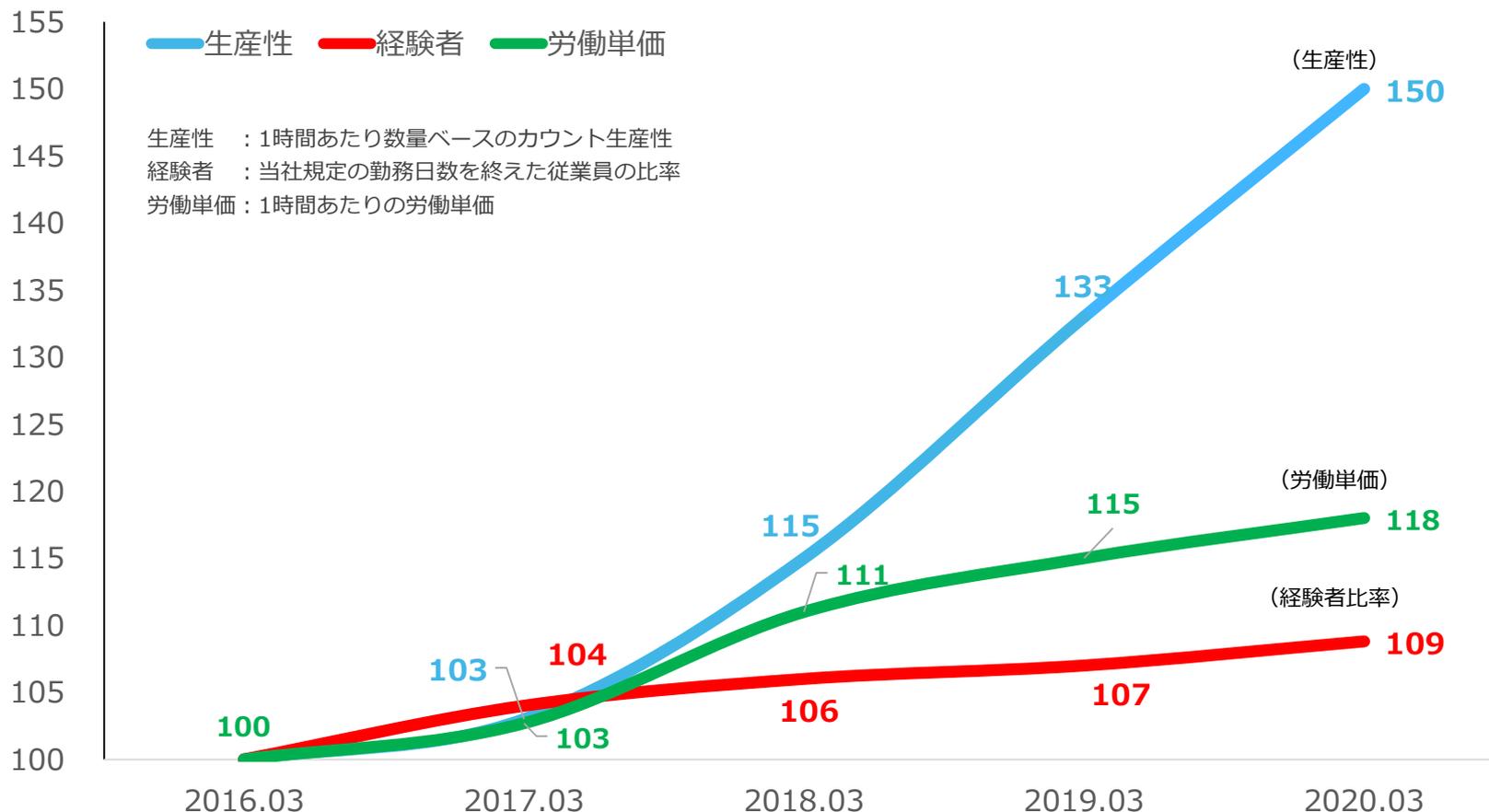


# 生産性・経験者比率・労働単価推移



- ✓ **生産性** 前期比12.7%伸長：日程分散化により、経験者比率向上し生産性向上へ
- ✓ **労働単価** 前期比2.6%上昇：2019年10月最低賃金改定による基本時給の改定

2016.03期の数値を100とした場合の推移



# セグメント別業績 (リテールサポートサービス)



(単位：百万円)

	2018.03期	2019.03期	2020.03期	前年同期比	
				前期比	増減額
売上高	7,190	7,819	8,719	111.5%	+899
売上総利益	1,404	1,455	1,471	101.1%	+16
対売上比	19.5%	18.6%	16.9%	-	-1.7%
販売管理費	837	966	941	97.4%	-25
対売上比	11.6%	12.4%	10.8%	-	-1.6%
営業利益	567	488	530	108.6%	+41
対売上比	7.9%	6.2%	6.1%	-	-0.2%

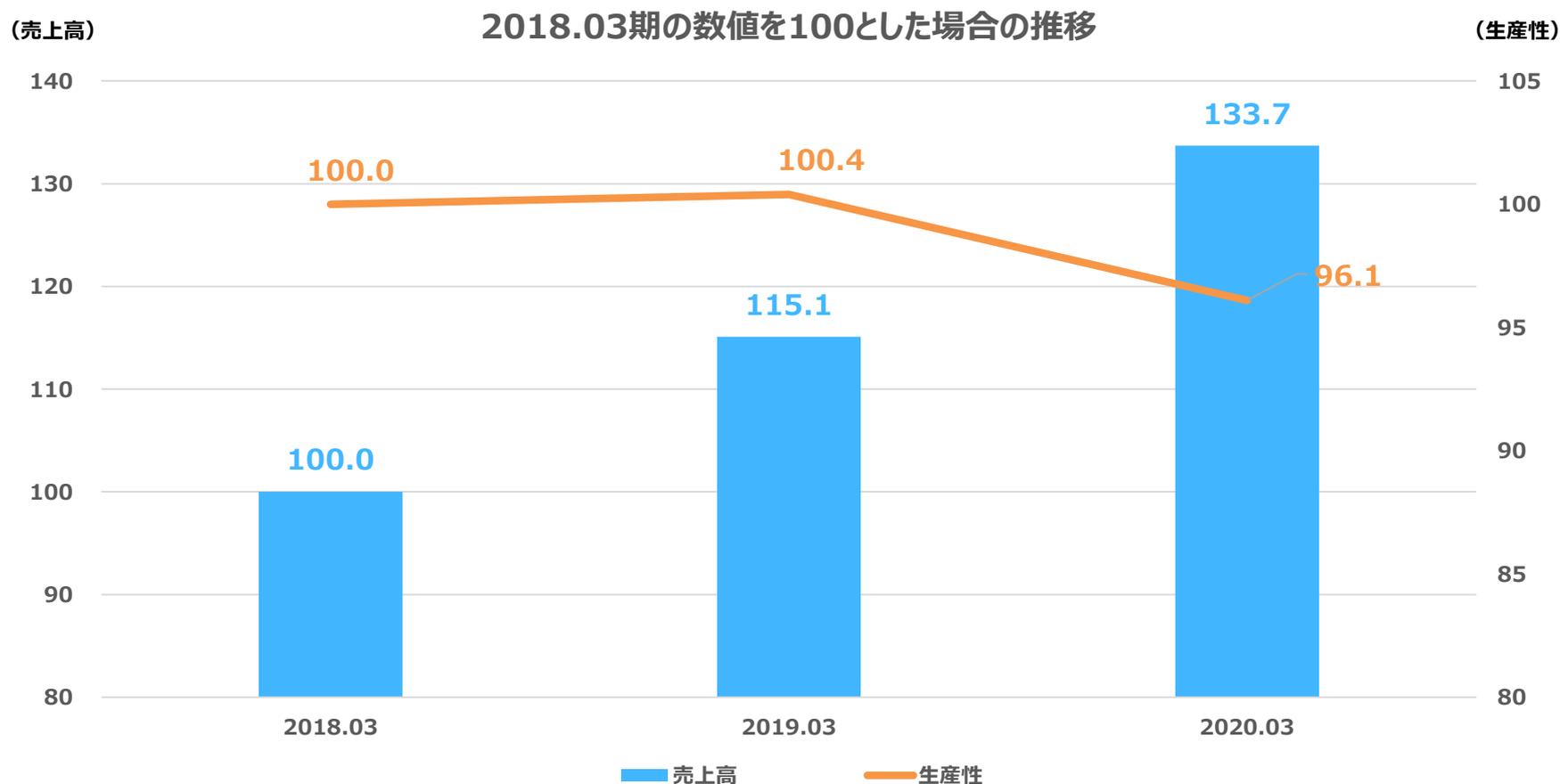
※セグメント間売上、振替も上記数値に含む

- 【対象会社】 エイジスマーチャンダイジングサービス、エイジスリサーチ・アンド・コンサルティング、ロウプ
- 集中補充サービスは既存企業の実施店舗数増加により売上は増加、一方で人員の適正化やオペレーションの標準化の遅れ等により売上総利益が1.7%低下した
  - 店舗改装サービスは主に新規顧客の獲得と下期への実施時期変更による発注店舗数の増加により売上は増加
  - 集中補充サービスと店舗改装サービスの売上増加により、売上高は前期比11.5%伸長

# 集中補充サービス売上高・生産性の推移



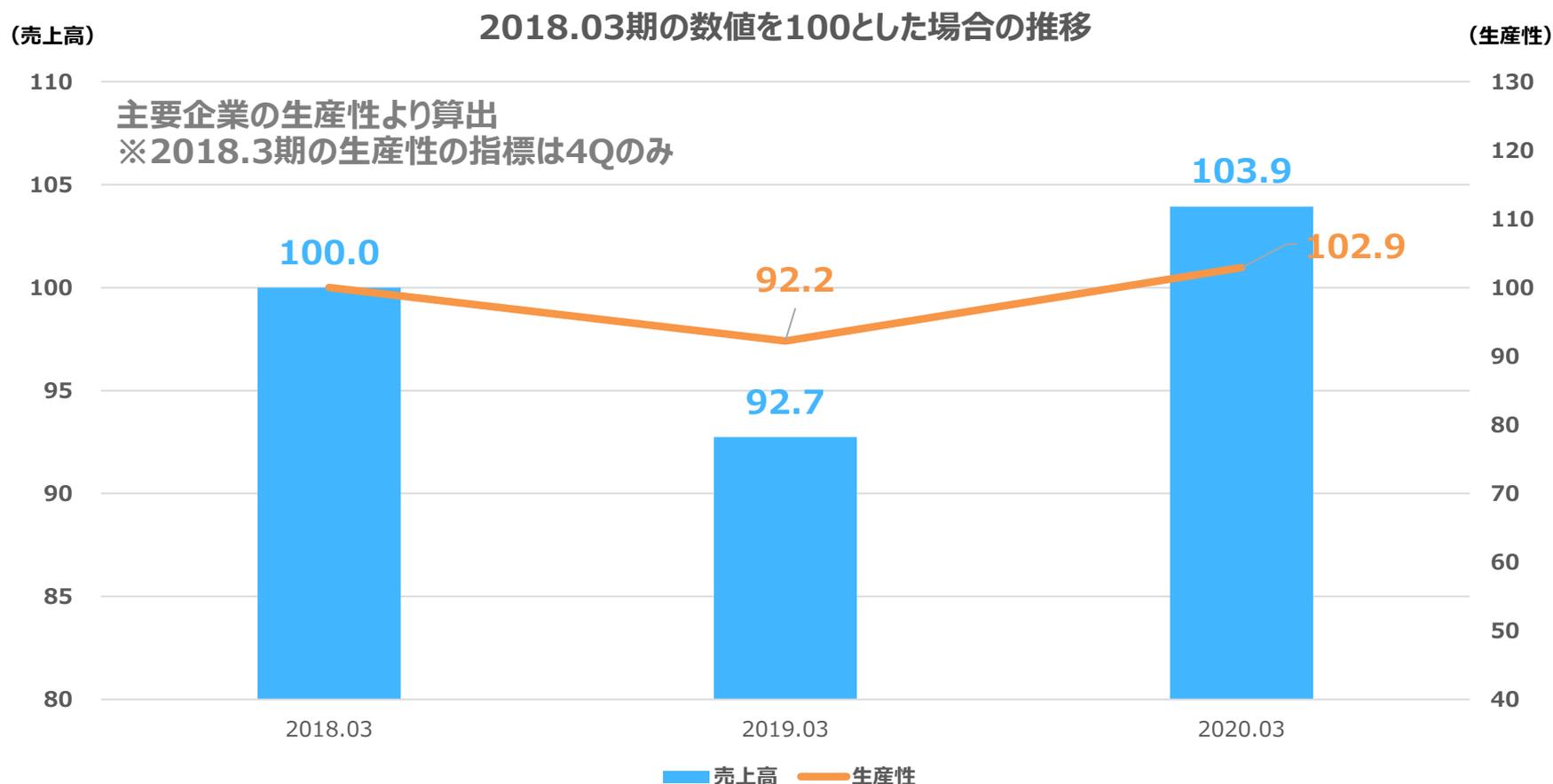
- ✓ 既存顧客の受注店舗数増加に伴い、売上高は33.7%伸長
- ✓ 人員の適正化及びオペレーションの標準化が遅れ、生産性は3.9%低下



# 店舗改装サービス売上高・生産性の推移



- ✓ 2020.03期は過去最高売上を達成
- ✓ 生産性向上施策（作業計画精度向上と進捗管理、主要顧客のオペレーション改善等）に取り組み、前期比10.7%向上



# セグメント別業績（海外棚卸サービス）



（単位：百万円）

	2018.03期	2019.03期	2020.03期	前年同期比	
				前期比	増減額
売上高	2,328	2,705	2,574	95.2%	-130
売上総利益	709	819	710	86.7%	-108
対売上比	30.5%	30.3%	27.6%	-	-2.7%
販売管理費	497	616	576	93.5%	-40
対売上比	21.3%	22.8%	22.4%	-	-0.4%
営業利益	211	202	133	66.0%	-68
対売上比	9.1%	7.5%	5.2%	-	-2.3%

※セグメント間売上、振替も上記数値に含む

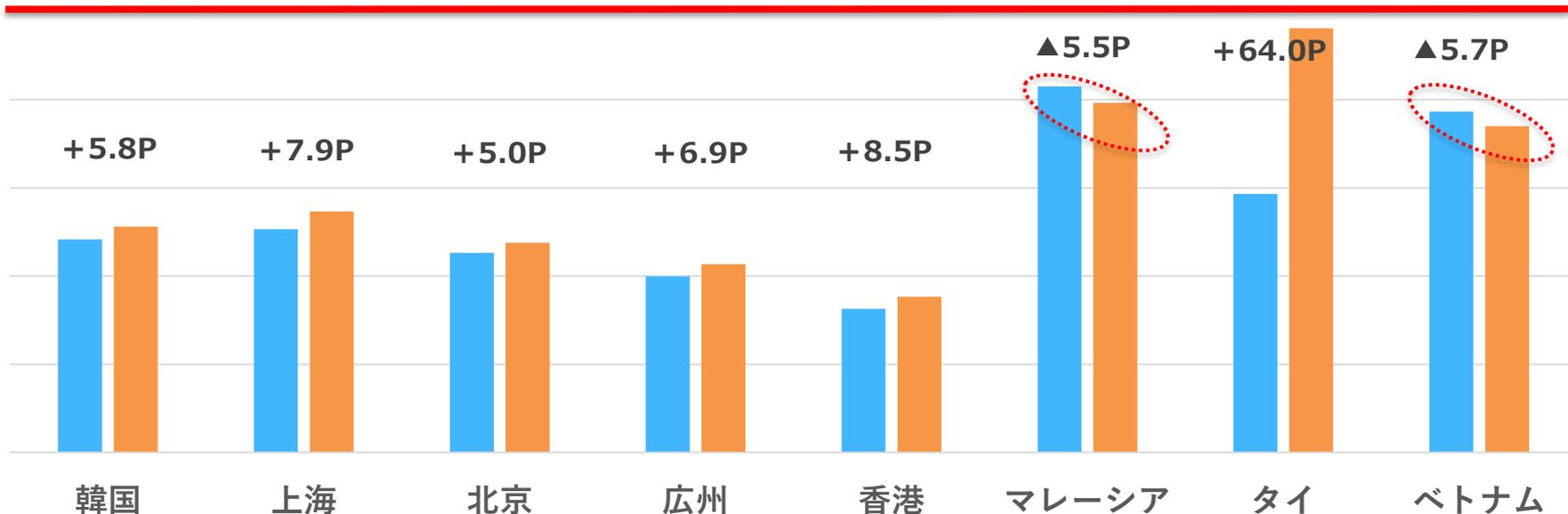
【対象会社】 韓国、上海、北京、広州、香港、マレーシア、タイ、ベトナム

- 中国において、大口顧客の受注店舗数減により減収、それに伴う利益額減少や景気悪化による貸し倒れ、労働コストの上昇、中国における新サービス開発費用増加により減益となった
- アセアン地区は新規顧客の獲得、既存顧客の受注店舗数増加により増収増益となった
- 生産性向上に取り組むも、安定した収益体制を構築するまでには至らなかった

- ✓ ベトナム・マレーシア以外は伸長
  - ✓ マレーシア：新規顧客獲得により落ち込むも、前年同店舗比では5%伸長
  - ✓ ベトナム：大口顧客を単独実施、今後現地従業員教育に対し、生産性向上取組を行う
- ※国ごとの数値に大きく開きがあるのは、顧客構成による棚卸手法の影響によるものです

■ 2018.12      ■ 2019.12

※日本国内平均(参考)



1. グループ概要

2. 2020.03期 業績ハイライト

3. 中期経営計画総括

4. 2021.03期 業績見通し

5. 2021.03期 重点取り組み

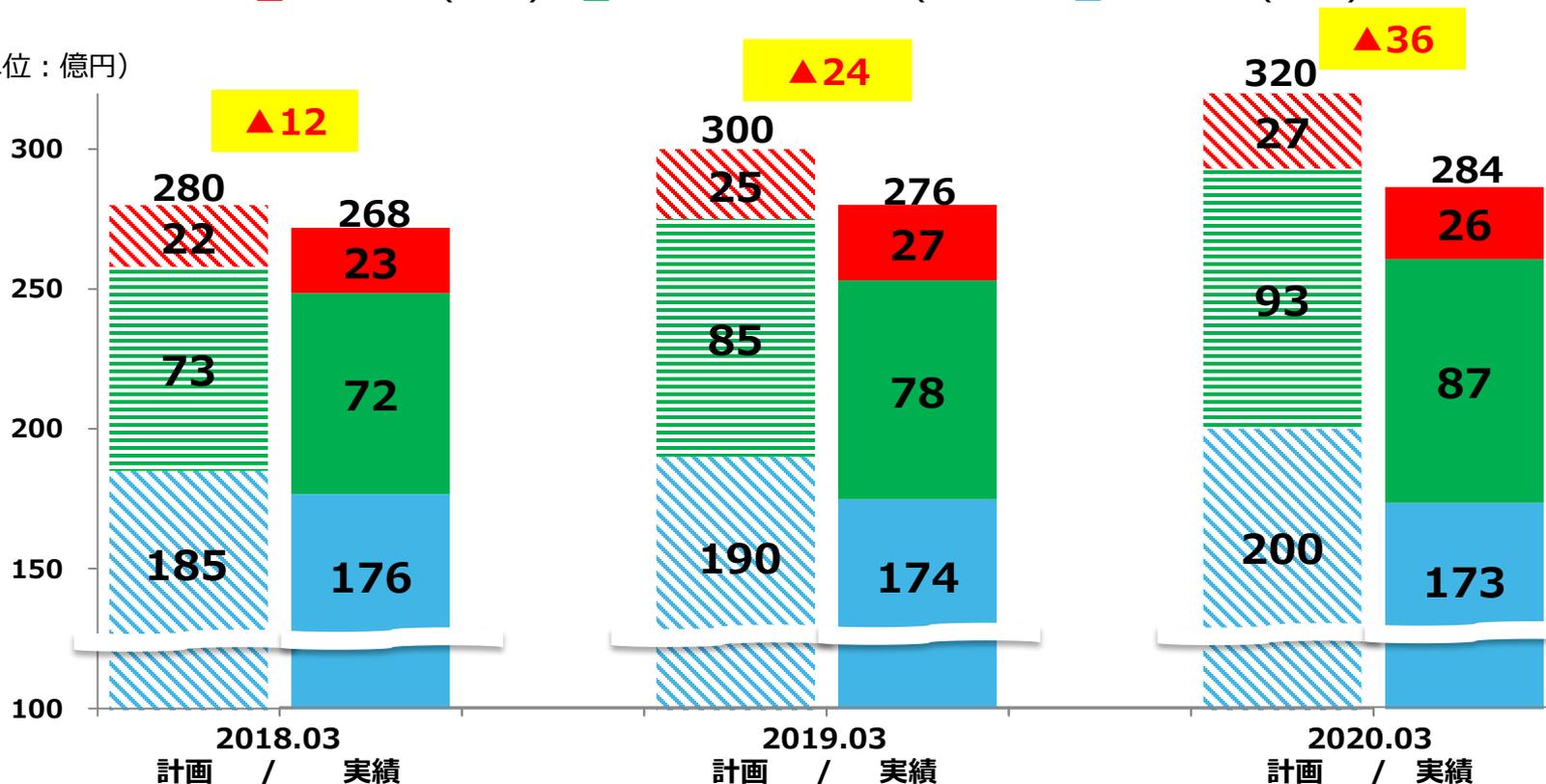
# FY17~19中期経営計画（売上高）

※2017年5月公表数値より

## ✓ 中期経営計画目標は未達であった

- ▨ 海外棚卸(計画)
- ≡ リテイルサポート(計画)
- ▨ 国内棚卸(計画)
- 海外棚卸(実績)
- リテイルサポート(実績)
- 国内棚卸(実績)

(単位：億円)

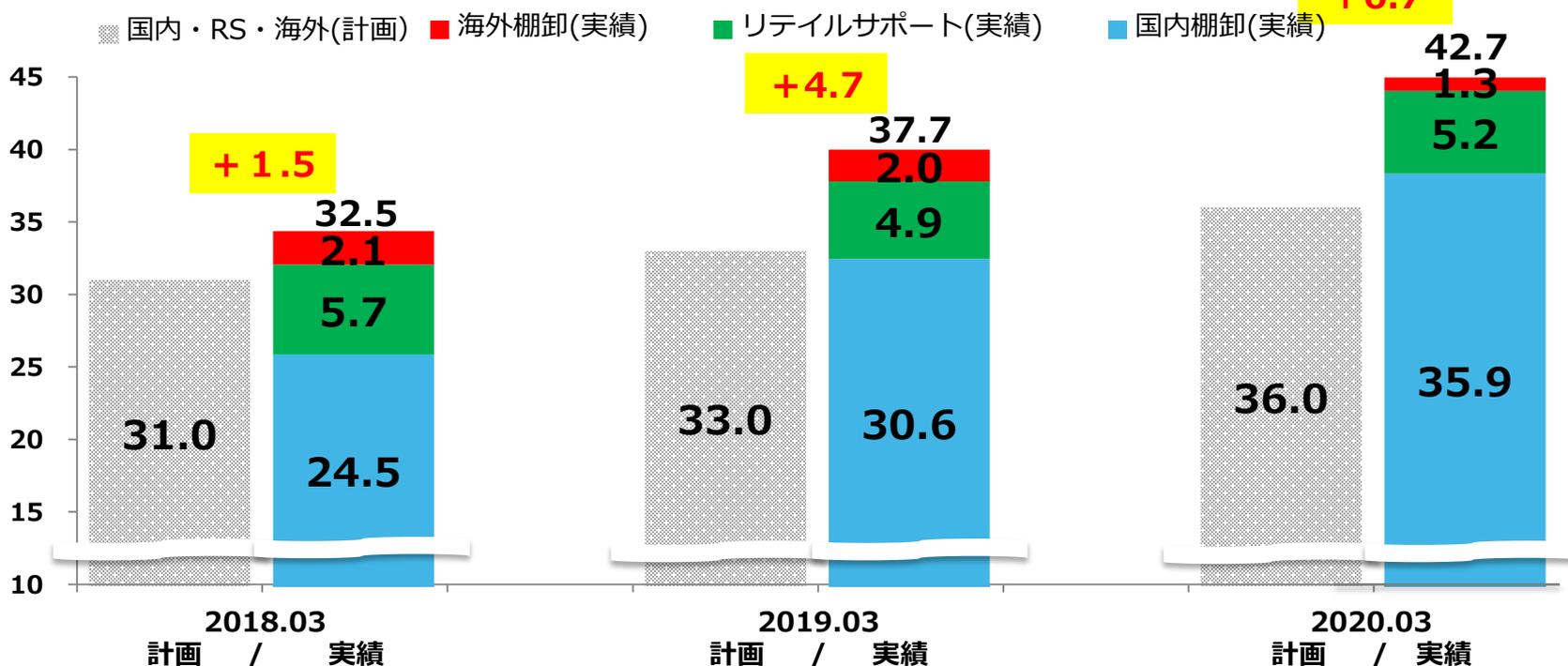
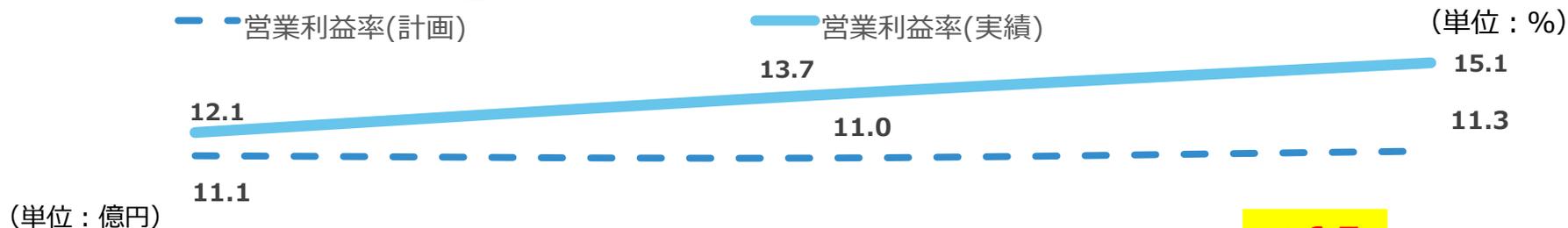


# FY17~19中期経営計画（営業利益(率)）



※2017年5月公表数値より

## ✓ 営業利益は3期連続達成



項目	重点施策	主な取り組み内容	評価
働き方改革	労働環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>長時間労働、労働災害の防止</li> <li>地域限定社員・フレックスタイム制度等導入</li> </ul>	○
	人材確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集採用業務の本社一元化</li> <li>女性、シニアへのアプローチ</li> </ul>	△
国内棚卸サービス	フィールド生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>独自能力5要素のレベルアップ（マネジメント、プロ化、スキルアップ、テクノロジー、単純化）</li> </ul>	○
	フィールド外生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の集約化</li> <li>業務の効率化</li> </ul>	△
リテールサポートサービス	請負・派遣業務の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品補充業務の拡販</li> <li>改装業務の拡販</li> </ul>	○
	店舗運営プロセスの提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>カテゴリリセット提案</li> <li>営業中の店舗改装提案</li> </ul>	△
	新しい市場の掘り起こしとサービス提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス提供のEC化（rapport）</li> <li>海外先進事例の研究と日本市場への提案</li> </ul>	△
海外棚卸サービス	現地化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営幹部の現地化…方針変更</li> <li>レポート体制構築と経営監査によるコントロール</li> </ul>	△
	サービス品質（精度・生産性）の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>KPIの統一による品質の見える化</li> <li>日本からのカウント技術指導支援</li> </ul>	△
	売上を拡大するための施策の実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本からの営業支援</li> <li>中国における新サービス開発プロジェクト</li> </ul>	△

※評価について ○は完了、△は進行中

# FY17~19中期経営計画 トピックス



2017.4  
BDS apollo社と  
技術供与契約を締結



2018.4  
40周年を期にロゴを刷新



2019.10.1  
シノプスとの業務提携開始



2019.10~  
自社開発新HTを導入

2017

2018

2019



Lowp  
Low profile - High impact

2017.12  
株ロウプをグループ化



2017.10~  
新HTを導入

2018.4  
パラリンアート世界大会へ協賛  
千葉ホークスのスポンサーに

Paralym Art®



あなたの明日をサポートする  
AJIS ラポニル  
rapport

2019.4  
エイジスラポールの  
運用を開始

bds mktg

2019.2  
Break Fixの戦略的  
パートナーシップ契約を締結  
Break Fixサービスの提供開始

1. グループ概要

2. 2020.03期 業績ハイライト

3. 中期経営計画総括

4. **2021.03期 業績見通し**

5. 2021.03期 重点取り組み

(単位：百万円)

	2020.03期	2021.03期	前年同期比	
			前期比	増減額
売上高	28,402	28,000	98.6%	-402
売上総利益	8,787	8,603	97.9%	-184
対売上比	30.9%	30.7%	-	-0.2%
販売管理費	4,510	4,703	104.3%	+193
対売上比	15.9%	16.8%	-	0.9%
営業利益	4,277	3,900	91.2%	-377
対売上比	15.1%	13.9%	-	-1.1%
経常利益	4,343	3,943	90.8%	-400
対売上比	15.3%	14.1%	-	-1.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,011	2,637	87.6%	-374
対売上比	10.6%	9.4%	-	-1.2%

# 2021.03期 連結業績見通し（セグメント別）



(単位：百万円)

セグメント名称	売上高					営業利益					
	2019.03期	2020.03期	2021.03期	前年同期比		2019.03期	2020.03期	2021.03期	前年同期比		
				前期比	増減額				売比	前期比	増減額
セグメント合計	27,669	28,402	28,000	98.6%	-402	3,778	4,277	3,900	13.9%	91.2%	-377
国内棚卸サービス	17,435	17,303	16,900	97.7%	-403	3,057	3,594	3,500	20.7%	97.4%	-94
リテールサポートサービス	7,819	8,719	9,100	104.4%	+380	488	530	520	5.7%	98.1%	-10
海外棚卸サービス	2,705	2,574	2,230	86.6%	-344	202	133	-120	-	-	-253
消去	-290	-195	-230	-	-34	31	19	0	-	-	-19

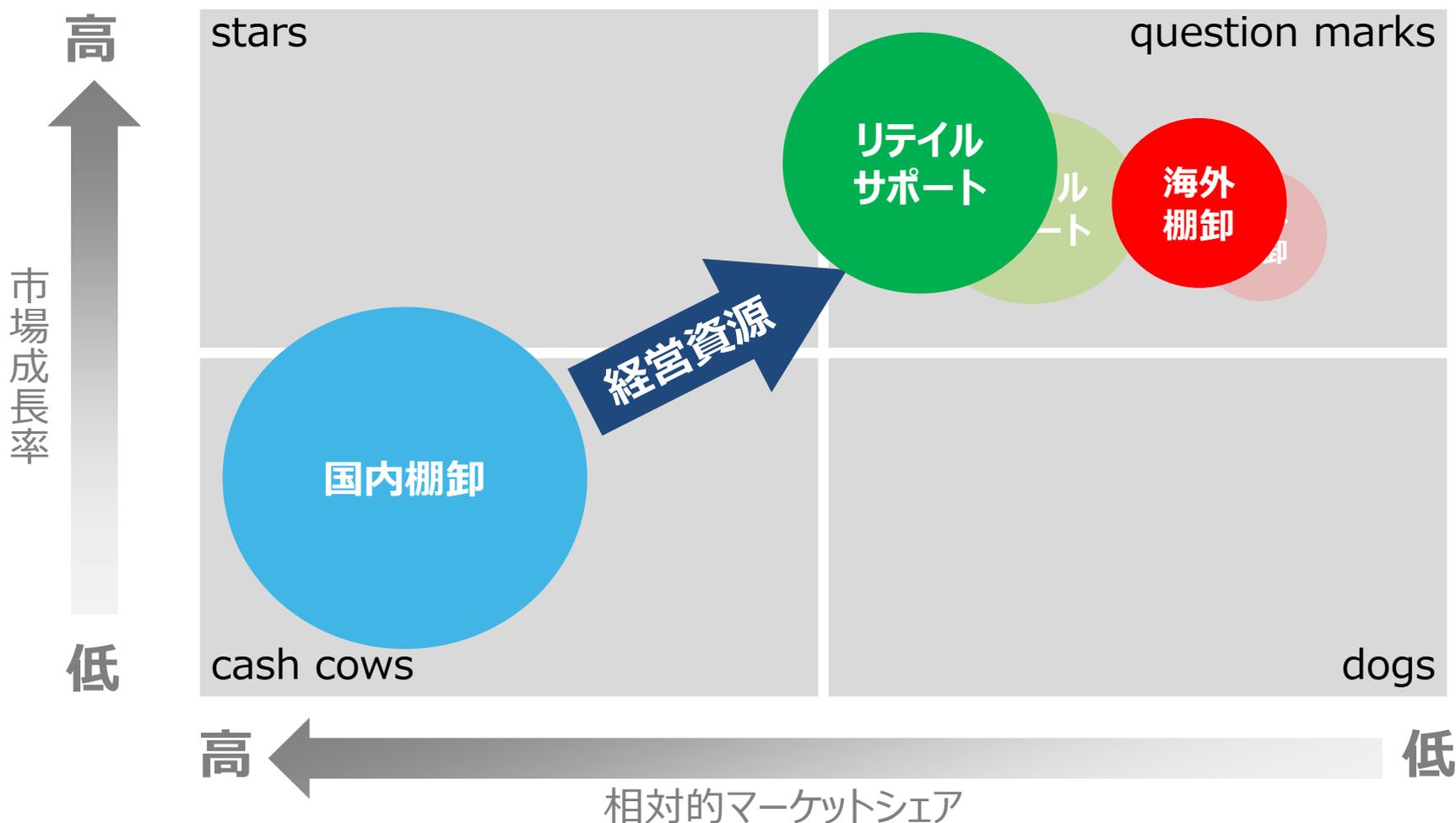
- 国内棚卸サービス
  - 新型コロナウイルス感染症の影響により減収減益見込み。収益力確保の為に生産性向上取り組みに注力する
- リテールサポートサービス
  - 新型コロナウイルス感染症の影響により増収減益見込み。集中補充の拡販と生産性向上取り組み、店舗改装サービスの再定義とサービス化に向けた取り組み等により売上確保と収益性の向上を図る
- 海外棚卸サービス
  - 新型コロナウイルス感染症の影響により減収減益見込み。レギュラー比率向上・繁閑格差是正の取り組み等により収益力を高める

- ✓ 国内外において、新型コロナウイルス感染症による事業への影響が発生
- ✓ 6月以降の見通しは不透明な状態が続く

セグメント	主な内容
国内棚卸サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態宣言発出に伴い、一部顧客において感染拡大防止を理由としたキャンセルや延期が発生</li> <li>・モール閉鎖による立入り制限発生に伴い、インショップ型企業に影響</li> </ul>
リテイルサポートサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中補充では一部顧客において納品量の減少に伴うサービス提供の中止が発生するも、全体では納品量が増加傾向</li> <li>・店舗改装サービスでは一部顧客において延期が発生</li> <li>・接客調査サービスでは、調査中止や調査時期の延期が多数発生</li> </ul>
海外棚卸サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市封鎖による事業停止期間は以下の通り。現在は全拠点で事業再開。</li> <li>上海・北京・広州 &lt;2月1日-29日&gt;</li> <li>韓国・香港 &lt;無し&gt;</li> <li>マレーシア &lt;3月18日-5月12日&gt;</li> <li>タイ &lt;3月25日-5月1日&gt;</li> <li>ベトナム &lt;3月28日-4月22日&gt;</li> </ul>

1. グループ概要
2. 2020.03期 業績ハイライト
3. 中期経営計画総括
4. 2021.03期 業績見通し
5. 2021.03期 重点取り組み

- ✓ 国内棚卸の収益を更に強化し、成長セグメントへの投資を加速する



**販売**

- **インストアプロモーション**  
ディスプレイ、売場レイアウト変更
- **商品管理**  
陳列、補充、賞味期限管理
- **価格設定**  
EDLP、特売
- **販売**  
商品知識、接客、クレンリネス

**販売企画・商品開発**

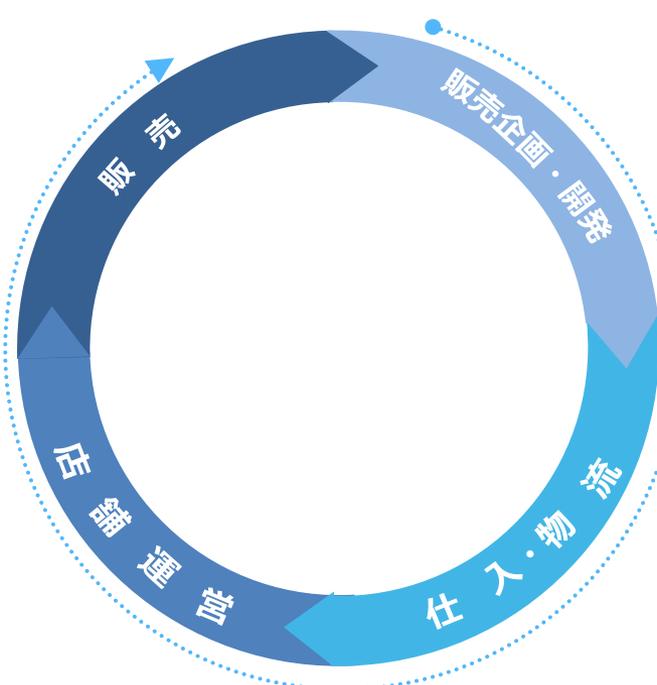
- **マーケティング**  
業界・市場動向、競合店情報  
ライフスタイル分析
- **商品計画**  
戦略商品政策、  
カテゴリ別収益計画
- **商品開発**  
PB商品、SB商品

**店舗運営**

- **棚割計画**  
52週MD計画の立案、地域商品
- **セールスプロモーション**  
広告、曜日市、ポイント制度
- **数値計画・管理**  
進捗管理、リベート管理
- **店舗指導**  
マニュアル化、マテハン導入

**仕入・物流**

- **調達計画**  
取引先選定、商品別売上計画  
売価・原価の設定
- **在庫管理**  
適正在庫管理、発注コントロール  
廃棄、返品
- **出荷**  
配送計画、積載管理



**店舗開発**

- **新店計画** 商圈調査、競合店調査、売場計画
- **既存店計画** 改装、レイアウト変更

チェーンストアの発展のために  
エイジスバリューチェーンを構築する



## 販売

- **インストアプロモーション**  
ラウンドメンテ、フロアサイン
- **商品管理**  
陳列、補充、賞味期限管理、棚卸、棚替え
- **価格設定**  
売価チェック
- **販売**  
接客調査、接客教育

## 販売企画・商品開発

- **マーケティング**  
新規サービス
- **商品計画**  
新規サービス
- **商品開発**  
新規サービス

## 店舗運営

- **棚割計画**  
新規サービス
- **セールスプロモーション**  
新規サービス
- **数値計画・管理**  
新規サービス
- **店舗指導**  
店舗監査代行

## 仕入・物流

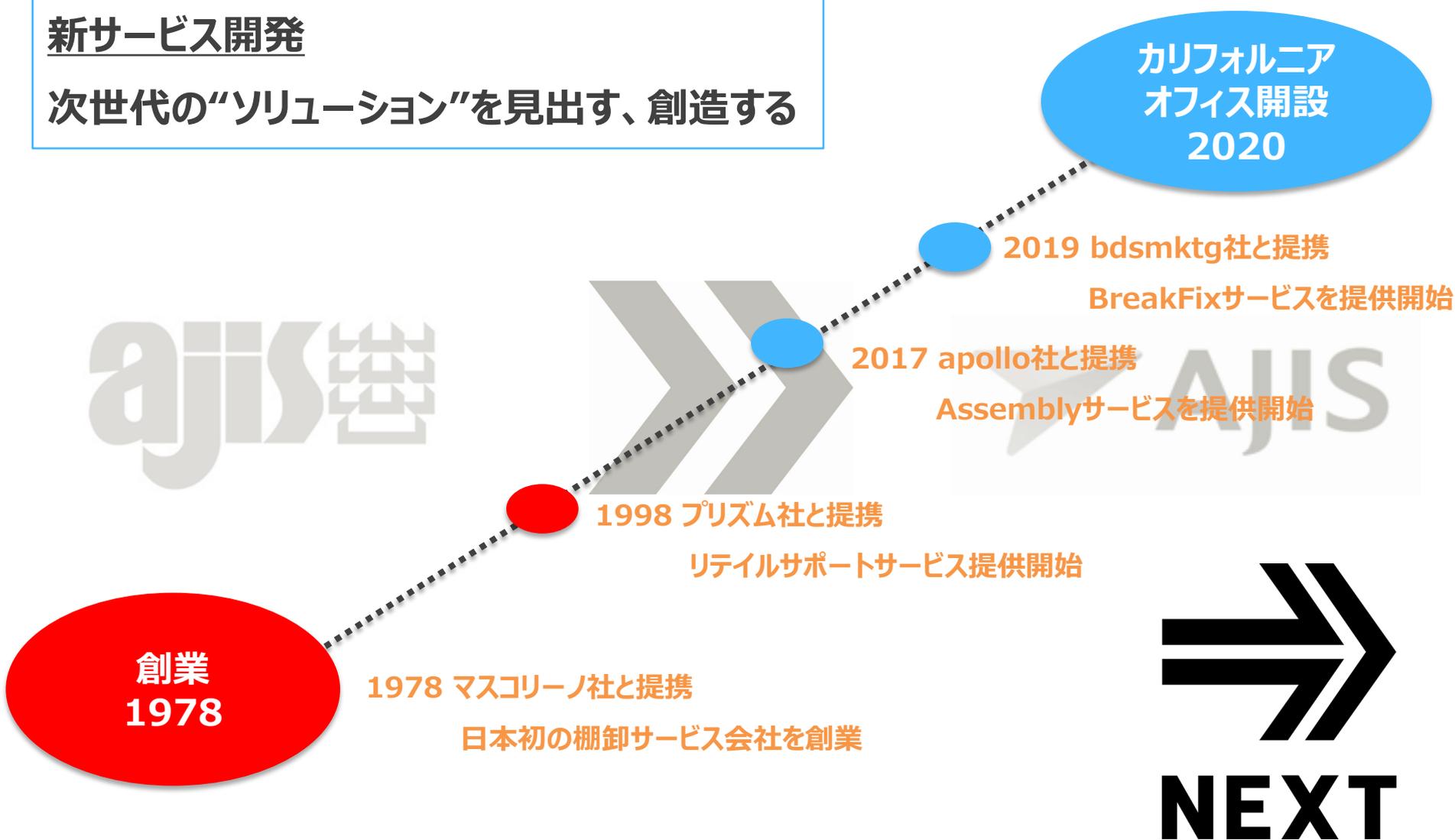
- **調達計画**  
新規サービス
- **在庫管理**  
新規サービス
- **出荷**  
新規サービス

## 店舗開発

- **出店・閉店計画**      新店セットアップ、閉店支援
- **既存店計画**          改装

**新サービス開発**

次世代の“ソリューション”を見出す、創造する



# カリフォルニアオフィス開設



From  
USA

## <開設目的>

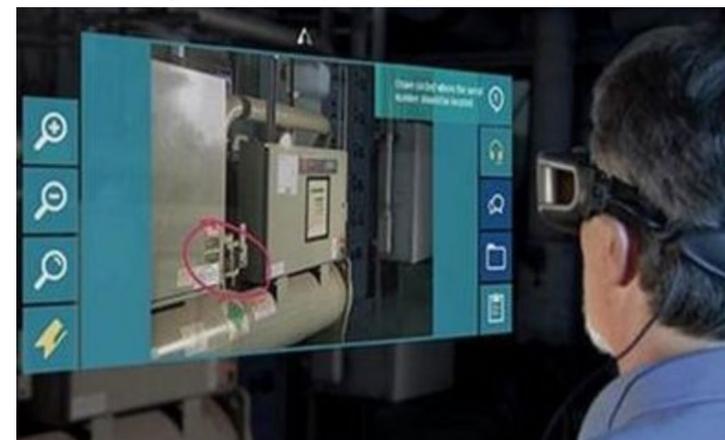
- ・パートナーシップ強化
- ・米国最新情報の収集



## 自動走行ロボによる 売場メンテナンス



## スマートグラスによる遠隔地からの指導



- ✓ ロボティクス技術の調査・研究・開発  
ロボット・無人機などの技術を当社サービスに取り入れるための調査・研究・開発に取り組みを継続
- ✓ スマートグラスの調査・研究・開発  
スマートグラスを用いた遠隔地からの指導、オペレーション効率化を目的とした調査・研究・開発を進める

※画像はイメージであり当社が開発・調査しているものとは異なる場合があります

## ✓ 生産性を追求し、さらなる収益力の向上に挑戦する

### フィールド外生産性の向上

- テレワーク・在宅ワークなど、働き方改革を推進する
- 納品作業の自動化推進
- フィールド外生産性を数値化し、KPIを設定する

### フィールド生産性の向上

- 作業効率化を実現するテクノロジーの開発と導入
- 循環棚卸・棚卸日程分散の推進
- 廃止・統合・集約・簡素化(ECRS)によりムダ・ムラ・ムリのないオペレーション体制を構築する

### ダイバーシティ経営の実現

- 多様な人材や文化を受け入れる職場環境を整備する
- イノベーションの創出を目的とした教育や組織を検討する

## ✓ 顧客にとって価値の高いリテイルサポートサービスを確立する

### 集中補充 拡販と生産性向上

- データに基づいた適正人員配置の実行
- 作業レベルで行動分析し、標準オペレーションを構築する
- 既存顧客に対する実施店舗数拡大提案

### 店舗改装サービスの 拡販と 生産性向上

- 店舗改装サービスを再定義し、サービス化する
- 米国の導入事例を研究し、サービス開発を行う
- データに基づいた作業計画の作成と進捗管理

### 次世代リテイルサポート サービスの構築

- 当社が保有するデータ活用の研究
- 当社が保有するデータを活用した新サービスの開発
- 情報活用により、既存サービスに付加価値を与える

- データプラットフォームの構築
  - 多様で大量のデータ（ビッグデータ）を活用
  - 既存事業の付加価値創造と新規ビジネスの可能性を研究する



ミステリー  
ショッパー



IDPOS  
行動履歴  
位置情報



棚卸データ  
ストアマップ  
賞味期限



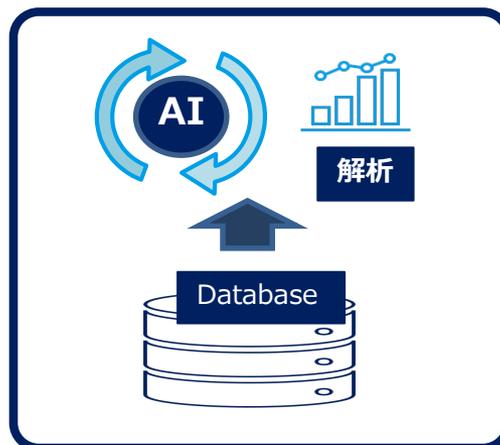
地図  
イベント情報  
天気、気象情報



大量のデータを高速  
で転送する



データプラットフォーム



発注データ  
マーケティング  
製品データ



画像データ

## 情報外販の可能性



企業で有用な情報

## 自社利用の可能性



高精度の予測により  
生産性向上を図る  
スケジューリング  
クーリング  
要員計画など

## 顧客ニーズの調査



顧客のニーズから  
新サービスを開発

## ✓ エイジスラポールの拡販

# 登録店舗数 787店

(サービス開始1年、2020年3月期実績)

### エイジスラポールとは

#### エイジスグループ初のEC(eコマース)

お客様はパソコンやスマートフォンからラポールにアクセスすることで、“やりたいのに人手が足りない・・・”といったちょっとした業務(例えば補充)を気軽にアウトソーシングすることが可能に！  
メニューはお客様の要望を伺いながら、順次追加予定。

あなたの明日をサポートする

# AJIS ラポール

rapport



▲お客様にお配りしている  
フリーペーパー

## ✓ ラウンド(巡回型)メンテナンスサービスの拡販

### ◆ 社会的課題を解決するラウンドメンテナンスサービス

社会の変化の中で需要が高まっているラウンドメンテナンスサービスを今後さらに拡販



ATM

昨年度年間のべ訪問数

27,936回



シェアサイクル

昨年度年間のべ訪問数

8,752回



宅配ロッカー

昨年度年間のべ訪問数

22,672回

## ✓ 海外棚卸において最高品質のサービスの提供を実現する

### 高品質サービスの提供

- レギュラー比率の目標値設定と施策の実行
- 棚卸日程分散の推進による繁閑格差の是正
- 品質目標値の設定と月次管理により現場指導を強化

### マネジメント体制強化

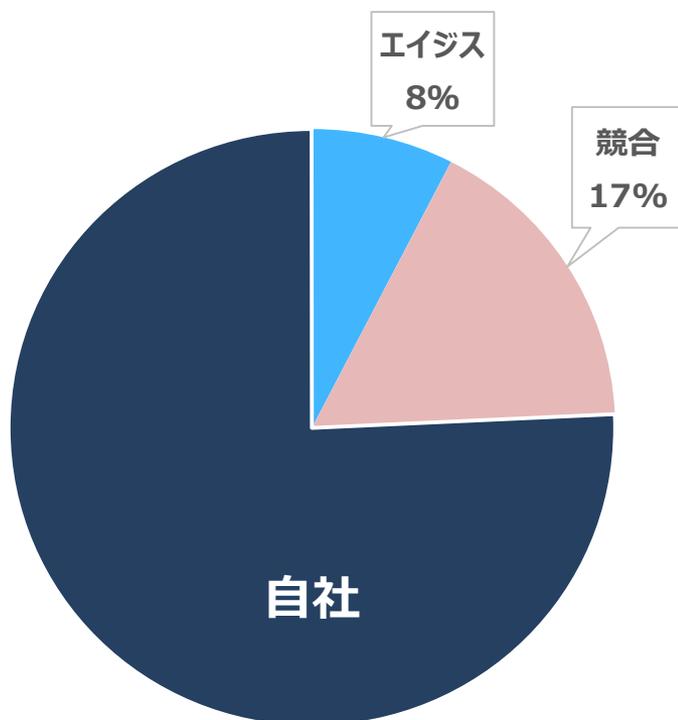
- カウント技術指導担当者を派遣し、教育方法を共有する
- 日本でマネジメント層を対象としたO-JTを行い、マネジメント手法を共有する
- 現地社員のマネジメント力向上の為の教育機会を増やす

### 売上拡大施策

- 日本からの営業支援により新規顧客を獲得する
- 社内プロジェクトにより循環棚卸・日程分散化を推進する
- 新規市場（国・地域）の調査研究

## 海外棚卸サービスのシェア率

マーケット規模約340億円



※当社調べ（現在の進出国マーケット）

## 海外マーケット

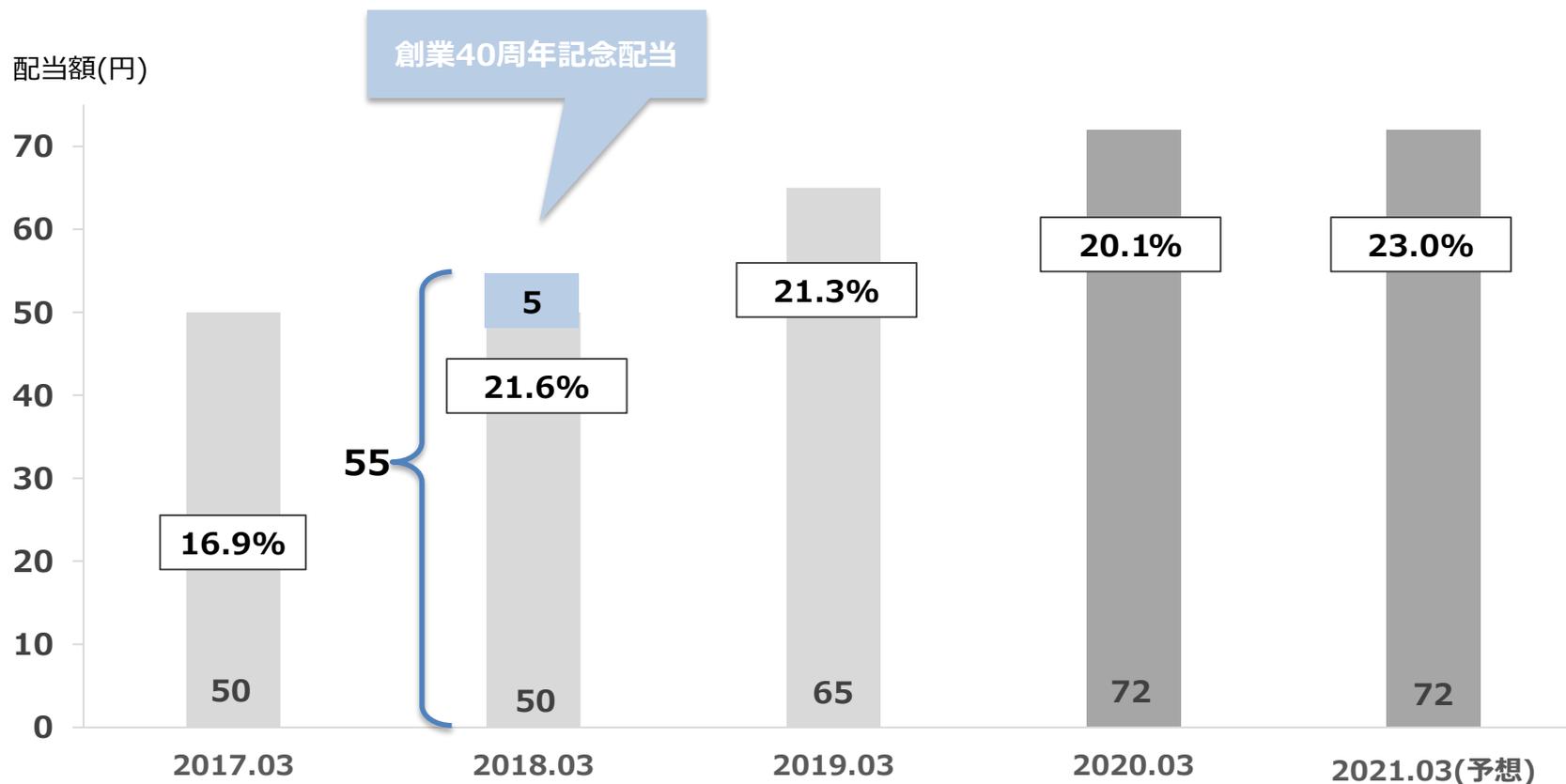
自社棚卸比率 **75%**

新規顧客獲得によりシェア拡大を目指す

- 棚卸アウトソーシングメリットの浸透
- 品質（精度・生産性）において競合との差別化を図る為の体制強化を進める

- ✓ 2020.03期 配当は1株あたり72円（普通配当）
- ✓ 2021.03期 配当予想は1株あたり72円（普通配当）

☐ % = 配当性向



※配当額は株式分割後の数値に修正しております

本資料における将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際には様々な要因によりこれらの予測とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

<<お問い合わせ先>>

経営企画室長 原田 光幸

TEL : 043-350-0911 / FAX:043-350-0800

E-mail : [ajis\\_ir@ajis-group.com](mailto:ajis_ir@ajis-group.com)



**AJIS**

Your Partner in Retail Solutions

# FACT BOOK 2020年3月期（連結業績）



# AJIS

Your Partner in Retail Solutions

## 株式会社エイジス

TEL	043-350-0911
FAX	043-350-0800
E-mail	ajis_ir@ajis-group.com
HP	<a href="https://www.ajis.jp">https://www.ajis.jp</a>



**JASDAQ**

証券コード：4659

〈本資料に関するお問い合わせ先：経営企画室長 原田 光幸〉

営業実績

業績

決算期	2016.03期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期
売上高(千円)	23,835,316	25,829,935	26,870,001	27,669,932	28,402,305
対前年伸長率(%)	109.2	108.4	104.0	103.0	102.6
国内棚卸サービス ※1					
棚卸受託収入(千円)	17,184,889	17,039,120	16,862,025	16,713,639	16,332,545
コンビニエンスストア(千円)	3,916,744	3,966,950	3,784,260	3,628,826	3,559,164
スーパーマーケット(千円)	2,424,408	2,443,386	2,439,334	2,437,846	2,454,178
ホームセンター・ドラッグストア(千円)	3,779,664	3,707,243	3,719,101	3,782,656	3,724,984
書店(千円)	894,939	836,019	705,534	663,446	628,600
GMS(千円)	2,368,715	2,449,327	2,460,022	2,497,666	2,488,575
専門店等(千円)	3,800,419	3,636,192	3,753,772	3,703,150	3,477,041
ロイヤリティ収入(千円)	154,866	185,044	181,158	185,429	192,359
その他(千円)	567,073	682,820	489,203	448,537	704,045
リテイルサポートサービス(千円) ※2	3,731,223	5,804,469	7,009,222	7,616,979	8,598,859
海外棚卸サービス(千円) ※3	2,197,265	2,118,480	2,328,391	2,705,394	2,574,495
売上総利益(千円)	6,869,211	6,872,520	7,475,193	8,401,843	8,787,637
売上総利益率(%)	28.8	26.6	27.8	30.4	30.9
営業利益(千円)	2,647,699	3,058,799	3,258,251	3,778,729	4,277,571
営業利益率(%)	11.1	11.8	12.1	13.7	15.1
経常利益(千円)	2,685,294	3,089,290	3,309,438	3,828,776	4,343,706
経常利益率(%)	11.3	12.0	12.3	13.8	15.3
親会社株主に帰属する当期純利益	1,765,821	2,125,162	2,237,787	2,634,850	3,011,401
親会社株主に帰属する当期純利益率(%)	7.4	8.2	8.3	9.5	10.6

※1 国内棚卸サービス

株式会社エイジス(当社)

※2 リテイルサポートサービス

エイジスマーチャンダイジングサービス株式会社、エイジスリサーチ・アンド・コンサルティング株式会社、株式会社ロウブ

※3 海外棚卸サービス

エイジスビジネスサポート株式会社、艾捷是(上海)商務服務有限公司、AJIS (MALAYSIA) SDN. BHD.、愛捷是(広州)商務服務有限公司、愛捷是(北京)商務服務有限公司、AJIS (HONG KONG) CO., LTD.、AJIS (THAILAND) CO., LTD.、AJIS (VIETNAM) CO., LTD.

収益および効率性

決算期	2016.03期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期
期末総資産（千円）	13,617,351	15,322,028	17,876,486	18,846,955	21,357,481
総資産回転率（回）	1.8	1.8	1.6	1.5	1.4
総資産当期純利益率(ROA)（%）	13.3	14.7	13.5	14.3	15.0
自己資本（千円）	9,556,807	11,463,730	13,425,933	14,212,784	16,651,605
純資産（千円）	9,583,154	11,593,181	13,600,858	14,428,444	16,909,221
自己資本利益率(ROE)（%）	19.1	20.2	18.0	19.1	19.5
株主資本配当率（DOE）（%）	2.5	3.4	3.9	4.1	3.9
期末従業員数（人）	686	671	718	780	814
期末嘱託社員数(※1)	5,370	5,752	5,735	5,367	5,319
期末従業員1人当たり売上高（千円）	34,745	38,495	37,423	35,474	34,892
期末従業員1人当たり当期純利益（千円）	2,574	3,167	3,117	3,378	3,700

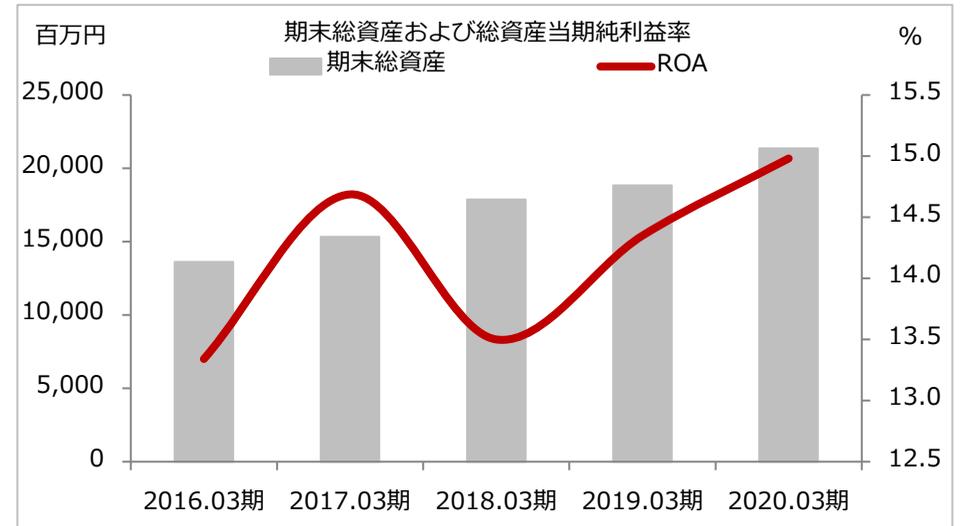
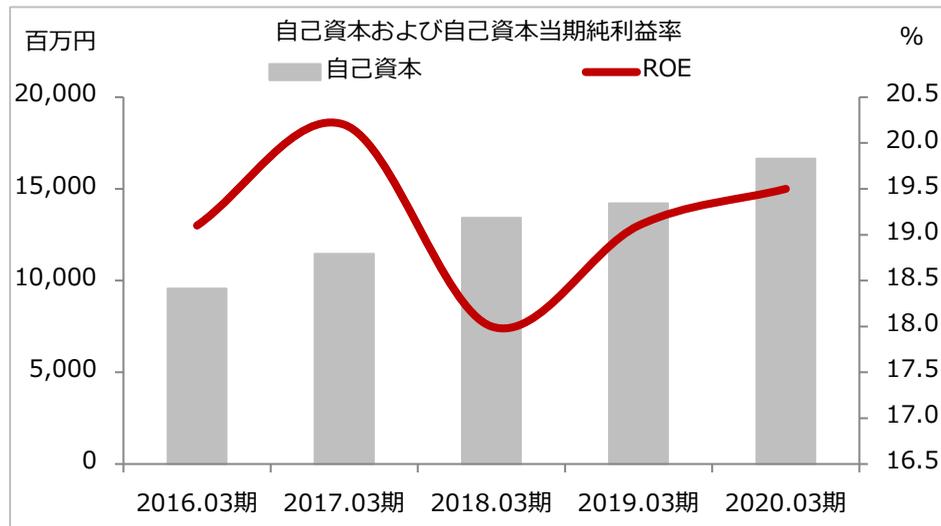
注：総資産回転率＝売上高／総資産（期首・期末平均）

総資産当期純利益率(ROA)＝親会社に帰属する当期純利益／総資産（期首・期末平均）

自己資本利益率(ROE)＝親会社に帰属する当期純利益／自己資本（期首・期末平均）

株主資本配当率(DOE)＝ROE×配当性向

※1嘱託社員(契約社員を含む)の人員数は、年間の平均人数を記載



## 財務分析

### 安定性1

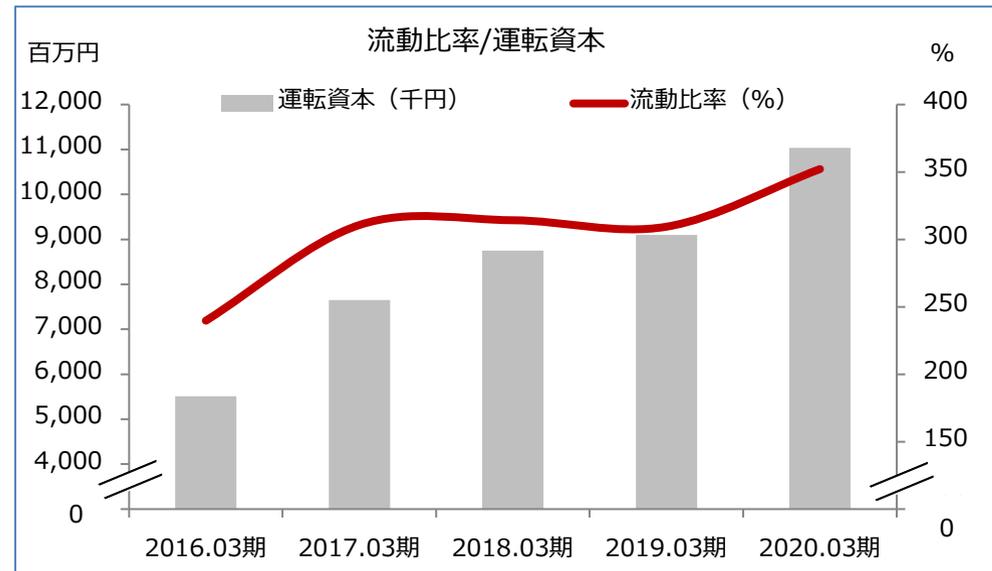
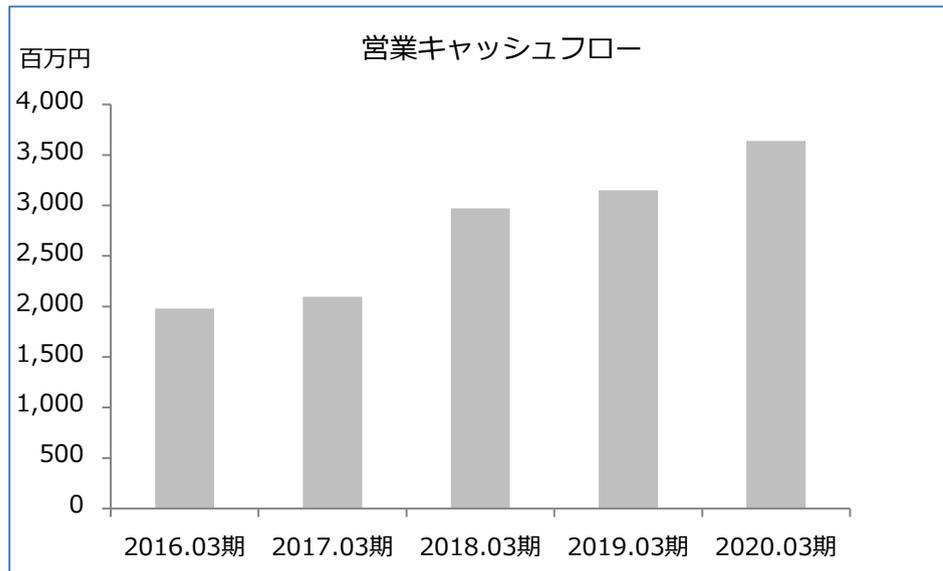
決算期	2016.03期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期
流動比率 (%)	239.7	310.7	314.2	309.4	352.2
流動資産 (千円)	9,459,391	11,286,036	13,114,307	13,447,664	15,410,096
流動負債 (千円)	3,946,254	3,632,780	4,174,388	4,346,133	4,375,954
運転資本 (千円)	5,513,137	7,653,256	8,939,919	9,101,531	11,034,142
営業キャッシュフロー (千円)	1,978,701	2,095,006	2,972,109	3,150,371	3,637,633
減価償却費 (千円)	378,351	396,195	464,945	384,687	366,335
売上債権回転期間 (カ月)	1.6	1.6	1.7	1.7	1.6
売上債権 (千円)	3,410,634	3,604,327	3,971,197	3,954,156	3,797,975

注：流動比率 = 流動資産（期末） / 流動負債（期末）

運転資本 = 流動資産（期末） - 流動負債（期末）

減価償却費は有形固定資産及び無形固定資産、繰延資産に対する償却費合計

売上債権回転期間 = 売上債権（期首・期末平均） / 1カ月当たり売上高



## 財務分析

### 安定性2

決算期	2016.03期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期
自己資本比率 (%)	70.2	74.8	75.1	75.4	78.0
固定比率 (%)	43.4	34.8	35.0	37.4	35.2
固定長期適合率 (%)	43.0	34.5	34.8	37.2	35.0
固定資産 (千円)	4,157,959	4,035,992	4,762,178	5,399,291	5,947,384
固定負債 (千円)	87,942	96,066	101,240	72,377	72,304
インタレスト・カバレッジ (倍)	1,102.9	1,926.2	3,441.3	2,854.8	2,994.5
受取利息・受取配当金 (千円)	14,734	13,313	18,784	27,753	31,338
支払利息 (千円)	1,866	700	1,207	1,427	888
有利子負債 (千円)	93,393	92,709	77,255	102,325	71,172
デッド・エクイティ・レシオ (%)	1.0	0.8	0.6	0.7	0.4

注：自己資本比率 = 自己資本 (期末) / 総資産 (期末)

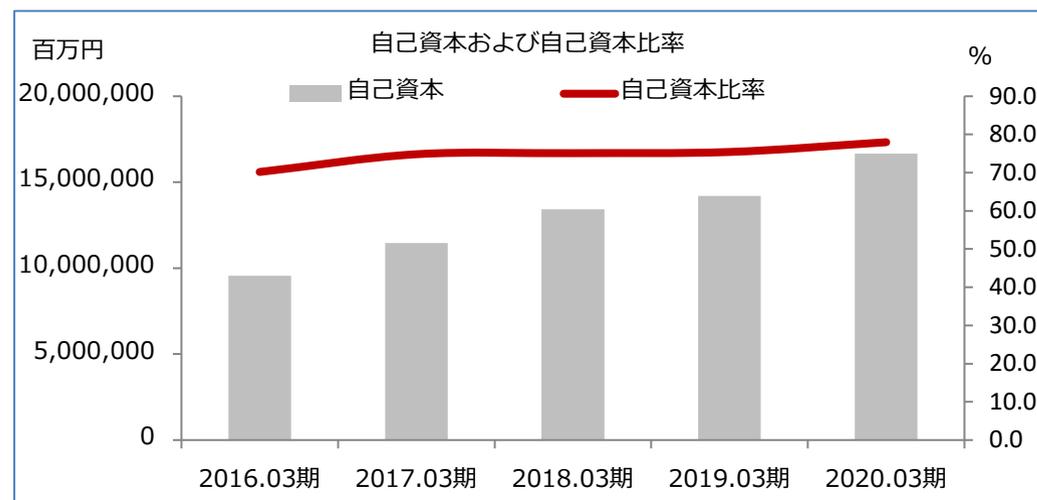
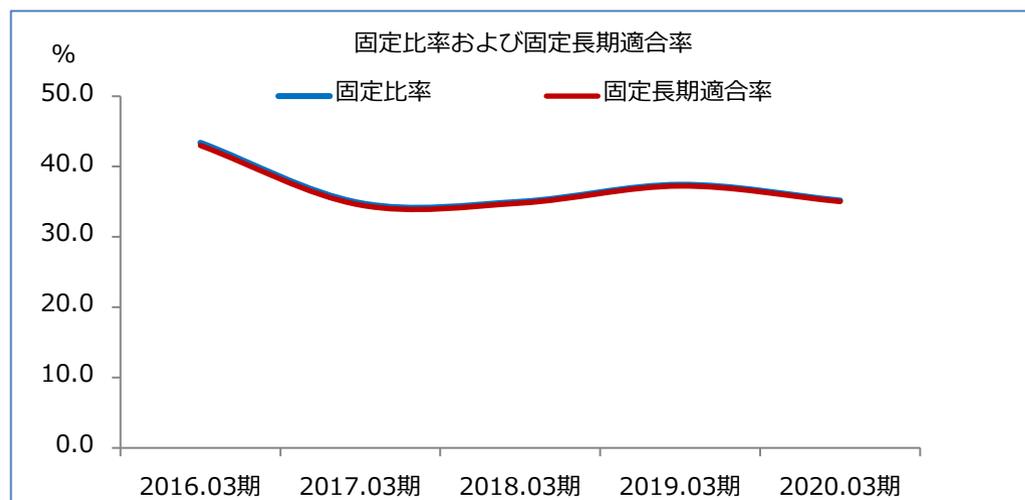
固定比率 = 固定資産 (期末) / 純資産 (期末)

固定長期適合率 = 固定資産 (期末) / {純資産 (期末) + 固定負債 (期末)}

インタレスト・カバレッジ = キャッシュフロー / 利払い

有利子負債 = 短期借入金および1年以内返済予定の長期借入金 + 社債および長期借入金

デッド・エクイティ・レシオ = 有利子負債 (期末) / 純資産 (期末)



## 1株当たりデータ

決算期		2016.03期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期
1株当たり当期純利益 (円)	※1	193.43	241.34	254.13	304.55	358.18
1株当たり純資産 (円)	※1	1,085.29	1,301.86	1,524.72	1,690.92	1,980.27
1株当たり配当金 (円)	※2	50	80	55	65	72
配当性向 (%)		12.9	16.6	21.6	21.3	20.1
株価収益率 (倍)		9.11	13.01	11.79	11.51	5.45
期末発行済株式総数 (株) <自己株式を除く>		4,402,879	4,402,836	8,805,543	8,405,373	8,408,768

注：株価収益率に使用した株価は各決算期末日（3月31日の終値）の株価を使用しております。

※1 当社は、2017年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式を分割しましたが、2015年3月期の期首に当該分割が行われたと仮定し、1株あたりの純利益および純資産を算定しております。

※2 当社は、2017年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式を分割しましたが、2015年3月期から2017年3月期までの会計期間においては当該株式分割前の実際の配当の額を記載しております。

## 資本移動

1996年11月28日	有償一般募集	入札による募集350,000株、発行価格960円、資本繰入額480円、払込金総額473,480千円 入札によらない募集150,000株、発行価格1,240円、資本繰入額480円、払込金総額186,000千円
2000年5月19日	株式分割	1：1.2 これにより発行済株式数は4,896,000株になりました
2001年8月1日	1単位の株式数の変更	1単位の株式数を1,000株から200株へ変更いたしました
2002年1月4日	1単位の株式数の変更	1単位の株式数を200株から100株へ変更いたしました
2004年5月20日	株式分割	1：1.1 これにより発行済株式数は5,385,600株になりました
2017年4月1日	株式分割	1：2 これにより発行済株式数は10,771,200株になりました



連結貸借対照表

(単位：千円)

決算期	2016.03期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期
資産の部					
流動資産					
現金及び預金	5,512,234	7,247,793	8,690,632	9,152,203	11,388,410
受取手形及び売掛金	3,410,634	3,604,327	3,971,197	3,954,156	3,797,975
リース投資資産	8,668	5,919	3,170	421	-
貯蔵品	53,114	40,350	46,039	67,810	27,816
その他	252,831	216,317	211,885	273,073	195,894
流動資産合計	9,459,391	11,286,036	12,922,925	13,447,664	15,410,096
固定資産					
建物及び構築物（純額）	571,846	547,294	525,760	503,585	480,194
工具、器具及び備品（純額）	249,924	256,860	333,960	272,805	180,100
土地	1,276,394	1,276,394	1,276,394	1,276,394	1,276,394
その他（純額）	981	672	456	186	386
有形固定資産合計	2,099,147	2,081,222	2,136,572	2,052,972	1,937,075
無形固定資産	471,656	460,081	584,056	739,971	879,975
投資有価証券	919,050	1,033,004	1,584,735	1,966,874	2,529,948
繰延税金資産	240,895	186,567	193,371	244,517	238,286
その他	649,954	446,444	454,823	394,954	362,681
貸倒引当金	△ 838	-	-	-	△ 584
投資その他の資産合計	1,587,155	1,494,688	2,232,931	2,606,346	3,130,332
固定資産合計	4,157,959	4,035,992	4,953,560	5,399,291	5,947,384
資産合計	13,617,351	15,322,028	17,876,486	18,846,955	21,357,481

連結貸借対照表

(単位：千円)

決算期	2016.03期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期
負債の部					
短期借入金	93,393	92,709	77,255	84,973	60,000
1年以内返済予定の長期借入金	-	-	2,352	6,179	3,513
リース債務	2,748	2,748	2,748	421	-
未払金	2,066,521	1,967,598	2,200,460	2,363,303	2,170,125
未払法人税等	682,602	495,023	598,991	765,160	736,534
未払消費税等	366,958	321,174	463,273	312,317	634,126
賞与引当金	393,716	403,450	431,222	454,813	444,407
役員賞与引当金	14,316	15,340	20,641	6,647	9,249
その他	325,997	334,735	377,441	352,316	317,998
流動負債合計	3,946,254	3,632,780	4,174,388	4,346,133	4,375,954
長期借入金	-	-	17,351	11,172	7,658
リース債務	5,919	3,170	421	-	-
退職給付に係る負債	1,638	3,685	11,240	2,775	6,987
その他	80,384	89,210	72,226	58,429	57,659
固定負債合計	87,942	96,066	101,240	72,377	72,304
負債合計	4,034,196	3,728,847	4,275,628	4,418,511	4,448,259
資本金	475,000	475,000	475,000	475,000	475,000
資本剰余金	492,554	491,820	492,088	492,088	498,213
利益剰余金	11,035,939	12,940,957	14,826,518	16,956,370	19,421,423
自己株式	△ 2,463,335	△ 2,463,565	△ 2,463,941	△ 3,746,490	△ 3,740,906
株主資本合計	9,540,157	11,444,212	13,329,665	14,176,968	16,653,729
その他有価証券評価差額金	36,686	41,880	85,891	73,514	47,637
為替換算調整勘定	△ 20,036	△ 22,363	10,374	△ 37,699	△ 49,761
非支配株主持分	26,347	129,451	174,925	215,660	257,615
純資産合計	9,583,154	11,593,181	13,600,858	14,428,444	16,909,221
負債純資産合計	13,617,351	15,322,028	17,876,486	18,846,955	21,357,481

連結損益計算書

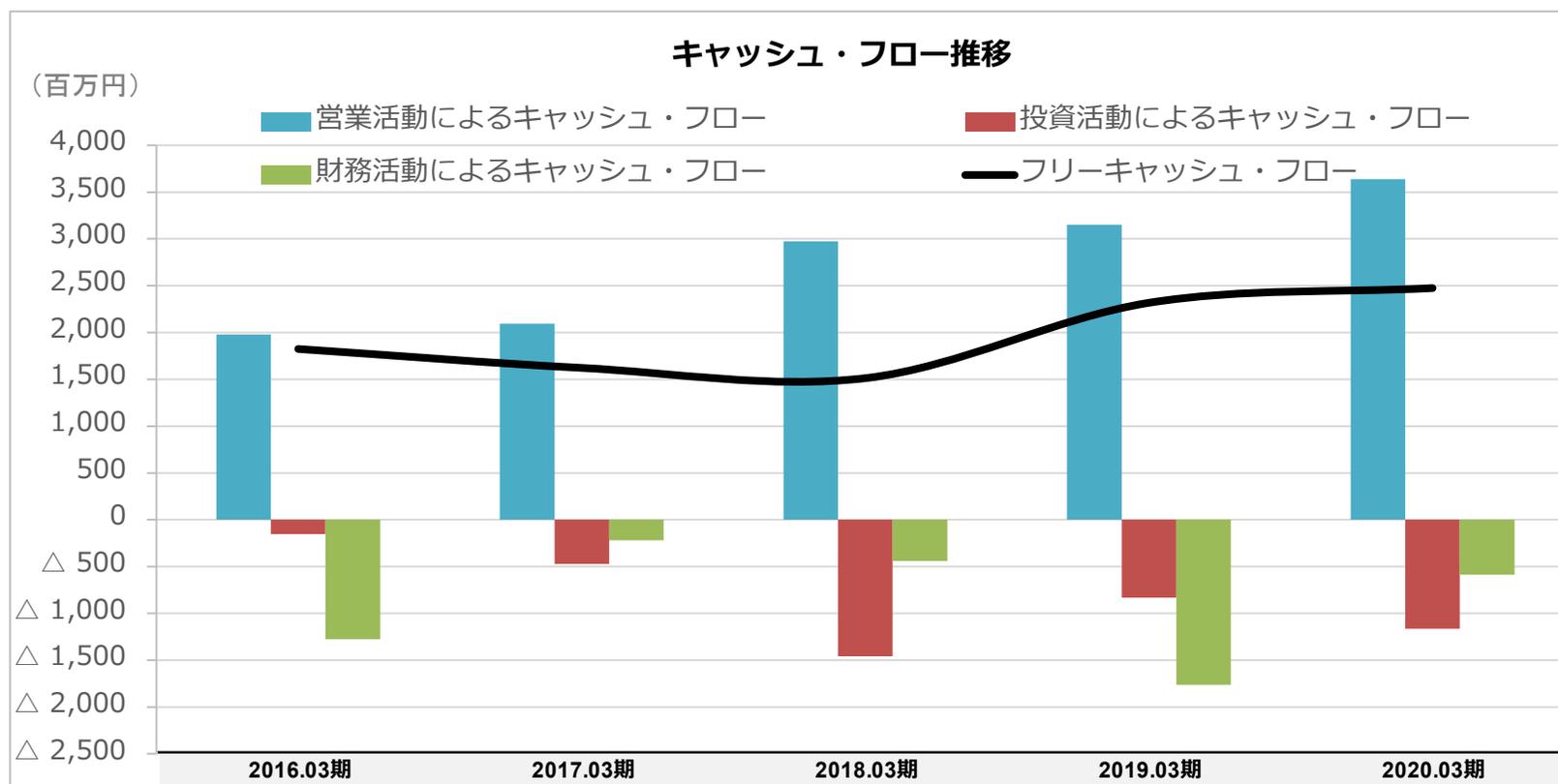
(単位：千円)

決算期	2016.03期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期
売上高	23,835,316	25,829,935	26,870,001	27,669,932	28,402,305
売上原価	16,966,105	18,957,414	19,394,807	19,268,088	19,614,668
売上総利益	6,869,211	6,872,520	7,475,193	8,401,843	8,787,637
<b>売上総利益率</b>	<b>28.8%</b>	<b>26.6%</b>	<b>27.8%</b>	<b>30.4%</b>	<b>30.9%</b>
販売費及び一般管理費	4,221,511	3,813,720	4,216,941	4,623,113	4,510,065
営業利益	2,647,699	3,058,799	3,258,251	3,778,729	4,277,571
<b>営業利益率</b>	<b>11.1%</b>	<b>11.8%</b>	<b>12.1%</b>	<b>13.7%</b>	<b>15.1%</b>
受取利息	7,015	7,277	12,190	20,209	23,280
受取配当金	7,719	6,036	6,594	7,543	8,058
その他	59,155	43,809	46,380	47,289	56,766
営業外収益	73,891	57,124	65,166	75,043	88,104
支払利息	1,866	700	1,207	1,427	888
自己株式取得費用	18,272	-	-	-	-
その他	16,157	25,932	12,772	23,568	21,081
営業外費用	36,297	26,633	13,980	24,995	21,969
経常利益	2,685,294	3,089,290	3,309,438	3,828,776	4,343,706
<b>経常利益率</b>	<b>11.3%</b>	<b>12.0%</b>	<b>12.3%</b>	<b>13.8%</b>	<b>15.3%</b>
特別利益	44,356	-	1,577	5,299	25,660
特別損失	60,885	8,440	17,149	2,346	976
税金等調整前当期純利益	2,668,764	3,080,849	3,293,866	3,831,730	4,368,391
<b>税金等調整前当期純利益率</b>	<b>11.2%</b>	<b>11.9%</b>	<b>12.3%</b>	<b>13.8%</b>	<b>15.4%</b>
法人税、住民税及び事業税	931,688	865,233	1,016,440	1,211,414	1,295,348
法人税等調整額	△ 49,548	56,480	△ 10,292	△ 59,784	11,387
非支配株主に帰属する当期純利益	20,803	33,973	49,931	45,249	50,253
親会社株主に帰属する当期純利益	1,765,821	2,125,162	2,237,787	2,634,850	3,011,401
<b>親会社株主に帰属する当期純利益率</b>	<b>7.4%</b>	<b>8.2%</b>	<b>8.3%</b>	<b>9.5%</b>	<b>10.6%</b>

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

決算期	2016.03期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,978,701	2,095,006	2,972,109	3,150,371	3,637,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 153,988	△ 472,588	△ 1,459,448	△ 832,667	△ 1,163,029
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,275,342	△ 218,751	△ 440,727	△ 1,762,808	△ 586,614
フリーキャッシュ・フロー	1,824,713	1,622,418	1,512,661	2,317,704	2,474,604
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 37,521	△ 634	14,870	△ 30,551	△ 7,712
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	511,848	1,403,031	1,086,804	524,343	1,880,277
現金及び現金同等物の期首残高	4,128,970	4,640,819	6,278,282	7,365,086	7,912,520
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	234,431	-	23,090	-
合併に伴う現金および現金同等物の増加額	-	-	-	-	57,727
現金及び現金同等物の期末残高	4,640,819	6,278,282	7,365,086	7,912,520	9,850,526



◆ 2021年3月期連結業績計画

(単位：百万円、%)

	2020年3月期			2021年3月期計画※						コメント
	構成比/売比	前期比	2021年3月期上期計画			構成比/売比	前期比	構成比/売比	前期比	
			構成比/売比	前期比	前期比					
売上高	28,402	100.0	2.6	13,020	100.0	△ 2.6	28,000	100.0	△ 1.4	
国内棚卸サービス	17,228	60.7	△ 0.7	7,860	60.4	△ 5.0	16,815	60.1	△ 2.4	
リテイルサポートサービス	8,598	30.3	12.9	4,375	33.6	11.8	9,046	32.3	5.2	
海外棚卸サービス	2,574	9.1	△ 4.8	785	6.0	△ 33.8	2,138	7.6	△ 17.0	
売上原価	19,614	69.1	1.8	9,320	71.6	0.0	19,396	69.3	△ 1.1	
売上総利益	8,787	30.9	4.6	3,699	28.4	△ 8.7	8,603	30.7	△ 2.1	
販売費及び一般管理費	4,510	15.9	△ 2.4	2,219	17.0	△ 4.5	4,703	16.8	4.3	
営業利益	4,277	15.1	13.2	1,480	11.4	△ 14.3	3,900	13.9	△ 8.8	
営業外収益	88	0.3	15.2	24	0.2	△ 37.4	53	0.2	△ 39.3	
営業外費用	21	0.1	78.8	5	0.0	△ 40.4	10	0.0	△ 54.5	
経常利益	4,343	15.3	13.4	1,499	11.5	△ 14.7	3,943	14.1	△ 9.2	
当期純利益	3,011	10.6	14.3	943	7.2	1.5	2,637	9.4	△ 12.4	

会社概要 (2020年3月31日現在)

商号	株式会社エイジス	本社所在地	〒262-0032 千葉市花見川区幕張町4丁目544番4 TEL043(350)0888 FAX043(350)0800							
設立	1978年5月	決算期	3月							
資本金	475,000,000円	発行済株式数	10,771,200株							
事業内容	流通業周辺サービス ・実地棚卸(商品・資産等) ・リテイルサポートサービス (集中補充・改装・リサーチ等) ・広告企画・制作	事業所計 86拠点 <直営> 48拠点 <FC> 38拠点	青森市	さいたま市大宮区	厚木市	大阪市淀川区	札幌市中央区	高松市	広島市中区	北九州市小倉南区
			秋田市	熊谷市	町田市	大阪市中央区	札幌市北区	徳島市	広島市安佐南区	熊本市中央区
			盛岡市	川越市	静岡市葵区	堺市堺区	苫小牧市	徳島県板野郡	福山市	八代市
			仙台市宮城野区	千葉市花見川区	沼津市	和歌山市	函館市	松山市	山口市	宮崎市
			山形市	千葉市中央区	浜松市中区	奈良市	旭川市	宇和島市	下関市	都城市
			郡山市	市原市	名古屋市千区	東大阪市	北見市	高知市	大分市	鹿児島市
			宇都宮市	柏市	津市	京都市下京区	帯広市	新居浜市	福岡市博多区	那覇市
			小山市	東京都新宿区	四日市市	神戸市中央区	釧路市	丸亀市	福岡市東区	沖縄市
			新潟市中央区	八王子市	岐阜市	岡山市北区			福岡市南区	
			水戸市	東京都墨田区	金沢市	姫路市			大野城市	
			高崎市	武蔵野市	富山市	松江市			久留米市	
			長野市	横浜市西区	福井市				長崎市	
			松本市						佐世保市	
									佐賀市	

子会社(\*は連結子会社)

<b>(国内子会社)</b>		
エイジスマーチャンダイジングサービス株式会社 (*)	(千葉市花見川区)	マーチャンダイジングサービス)
エイジスリサーチ・アンド・コンサルティング株式会社 (*)	(千葉市花見川区)	カスタマーサービス・チェック)
株式会社ロウプ (*)	(東京都新宿区)	広告企画制作)
エイジスコーポレートサービス株式会社	(千葉市花見川区)	事務代行業務、障害者特例子会社)
エイジスリテイルサポート研究所株式会社	(千葉市花見川区)	サービスの研究開発及びコンサルテーション)
<b>(海外子会社)</b>		
エイジスビジネスサポート株式会社 (*)	(大韓民国ソウル特別市)	実地棚卸サービス事業)
大連愛捷是科技有限公司	(中華人民共和国遼寧省大連市)	システム開発および棚卸機器の開発・製造)
艾捷是(上海)商務服務有限公司 (*)	(中華人民共和国上海市)	実地棚卸サービス事業)
AJIS (MALAYSIA) SDN. BHD.(*)	(マレーシア・セランゴール州)	実地棚卸サービス事業)
愛捷是(広州)商務服務有限公司 (*)	(中華人民共和国広州市)	実地棚卸サービス事業)
愛捷是(北京)商務服務有限公司 (*)	(中華人民共和国北京市)	実地棚卸サービス事業)
AJIS (THAILAND) CO., LTD.(*)	(タイ・バンコク都)	実地棚卸サービス事業)
AJIS (HONG KONG) CO., LTD.(*)	(中華人民共和国香港特別行政区)	実地棚卸サービス事業)
AJIS (VIETNAM) CO., LTD.(*)	(ベトナム・ホーチミン市)	実地棚卸サービス事業)
<b>(関連会社)</b>		
台湾愛捷是股分有限公司	(中華民国台北市)	実地棚卸サービス事業)
AJIS PHILIPPINES, INC.	(フィリピン・マニラ市)	実地棚卸サービス事業)